

『主婦の洗濯・アイロンがけについて』 調査レポート

2017.09

 サンケイリビング新聞社
リビング暮らしHOW研究所

忙しいと感じている主婦は約8割

「部屋の掃除・片付け」「料理」「アイロンがけ」のストレス大

- 自分が忙しいと思うか聞いたところ、「とても忙しい」「まあ忙しい」合わせて全体の約8割。特にフルタイムワークの主婦は「とても忙しい」が5割近くいて、「まあ忙しい」と合わせると94.9%。
- 特にストレスを感じる家事の上位は①部屋の掃除・片付け52.6%、②料理40.9%、③アイロンがけ35.8%、④洗濯物をたたむ・しまう31.9%、⑤風呂掃除31.1%。働いている人のほうが専業主婦よりストレスを感じているのは、「部屋の掃除・片づけ」「洗濯（洗う・干す・たたむ・しまう）」「ゴミ捨て」。

洗濯・アイロンがけの担当は「主に妻」が大多数

フルタイムワーク主婦の過半数が、夫にもしてもらいたい

- 洗濯の担当は、約9割が「主に自分（妻）」。
- フルタイムワークの人は「夫婦で分担」「主に夫が担当」が多めだが、それでも2割弱。洗濯に夫が関与している人のうち、夫の洗濯方法や仕上がりに不満がある人は約4割。
- 洗濯を主に自分（妻）が担当している人に理由を聞くと、「自分の担当だから」が4割強で最多。次いで、夫は洗濯する時間がない・する気がないという理由が上位に。また、「本音では、夫にも洗濯してほしい」という人が4割近く。働いている人ほど割合が高く、フルタイムワークの人は55.1%。
- アイロンがけは「主に自分（妻）が担当」が約7割。夫がアイロンがけに関与している人は14.4%。そのうち、夫のアイロンがけの方法や仕上がりに不満がある人は6.1%とごく少数。
- アイロンがけを主に自分（妻）がしている人に、その理由を聞くと「夫はアイロンがけをする気がない」が約5割で最多。「本音では、アイロンがけを夫にもしてほしい」という人は4割超。洗濯同様、働いている人のほうが割合が高く、フルタイムワーク主婦は56.2%が希望している。

アイロンがけを週1回以上する主婦が過半数いる一方でフルタイムワーク主婦の4割近くが「あまり・全くしない」

- 週1回以上アイロンがけをする人が、全体の55.7%。その一方で、「あまり」「全く」かけない人がフルタイムワーク主婦は4割近く、専業主婦でも3割近くいて、仕上がりのクオリティーより省力化を優先する流れも。
- アイロンがけの頻度を減らしたい人は約6割。減らしたい理由は、「面倒だから」が約8割と圧倒的。

過半数が洗濯の頻度を減らしたい

フルタイムワーク主婦は「面倒だから」、パート・アルバイト主婦と専業主婦は「節約のため」

- 洗濯を「1日2回以上」「ほぼ毎日」する人が、全体の8割超。フルタイムワーク主婦でも、7割超がほぼ毎日洗濯している。平日に洗濯する時間帯は、働き方で差があり、フルタイムワークの人は過半数が「18時台～23時台」。パート・アルバイトの人は65.6%、専業主婦は79.9%が「6時台～11時台」。フルタイムワークの人は、「主に休日」に洗濯する人が約1割いる。
- 洗濯の頻度を「減らしたい」と思っている人が過半数。洗濯を「1日2回以上」「ほぼ毎日」している人の割合が高いパート・アルバイトの人は特にニーズが高く、6割超が「減らしたい」。その理由は働き方で差があり、フルタイムワーク主婦のトップは「面倒だから」66.0%。パート・アルバイト主婦（58.9%）と専業主婦（63.4%）のトップは「水道光熱費の節約のため」。
- 5年前と比べて、洗濯の頻度が増えた人が47.3%。年代別にみると20代（62.8%）、30代（64.1%）の割合が高いため、結婚・出産などで家族が増えたことが大きな理由と推察される。洗濯の頻度が減った人は全体では15.9%だが、50代では35.0%とポイントが急増する。「減った」という人に、どれくらい減ったかを聞くと、1週間に「1回分」34.6%、「2回分」26.8%がボリュームゾーン。減った主な理由は「子どもの成長により」54.3%、「同居する家族の人数が減った」44.9%。

洗い上がりの質と時間・手間削減のバランスに悩む…

洗い分けをまめにしない人が多数派

- 「洗濯の仕上がりはある程度重視したうえで、できるだけ手間を減らしたい」という考えの人が、全体の4分の3程度。専業主婦・パート・アルバイト主婦は、「洗濯の仕上がりを重視するので、洗濯に時間・手間がかかるのは仕方ない」と思っている割合がやや高めだが、それでも2割に届かない。フルタイムワーク主婦、パート・アルバイト主婦は「仕上がりのクオリティーは多少落ちてもいいので、時間・手間のカットを重視したい」という人も1割強。
- 洗濯物の洗い分けを「ほぼ毎回」している主婦は約3割で、まめに洗いわけていない人のほうが多数派。洗濯物の洗い分けをしない理由を聞くと、約8割が「洗濯の時間や手間を減らすため」と回答。
- 洗い分けられている率が高いものは「デリケートな衣類」62.1%、「汚れのひどい物」60.4%、「タオルやシーツなど大きい物」51.8%、「色物」40.5%。働き方別にみると、フルタイムワーク主婦はこの4項目でポイントが他の属性より低く、洗濯の省力化をしている傾向が強い。

洗濯・アイロンがけの主な効率化の手段は

「アイロン不要な服」「すすぎ1回」「洗濯機の時短機能」

- 洗濯やアイロンがけの効率化のためにしていることの上位は、①なるべくアイロン不要な服を買う45.8%、②すすぎ1回でOKな洗剤を使う37.9%、③洗濯機の時短機能を利用する32.3%、④ニオイ対策のできる洗濯洗剤や柔軟剤を使う28.5%、⑤まとめ洗いをする（分け洗いをやめる）28.1%。クリーニング店の利用を増やしたり、コインランドリーや家事代行を利用する人の率は1桁台と非常に少なく、“洗濯・アイロンがけの外注”は進んでいない。
- 洗濯やアイロンがけの効率化のためにしていることを働き方別にみると、フルタイムワーク主婦のポイントが他より高めなのは、「なるべくアイロン不要な服を買う」50.0%。「ニオイ対策のできる洗濯洗剤や柔軟剤を使う」「洗濯機の乾燥機能を使う」のポイントも他より高めなのは、夜間に洗濯することが多いことが一因であろう。
- 専業主婦のポイントが他より高めなのは「すすぎ1回でOKな洗濯洗剤を使う」「洗濯機の時短機能を利用する」。洗い分けをする率が高く、洗濯回数も多めなことから、より時短ニーズが強いと推察される。
- 手間を惜しんで失敗した経験を聞くと、約6割が「シミや泥汚れの部分洗いをしなかった」「色物と白い物を一緒に洗った」ことによる失敗を体験。働き方で比較すると、フルタイムワーク主婦は「ちょっとシワが目立つがアイロンがけをしなかった」のポイントが53.6%と高め。専業主婦は「シミや泥汚れの部分洗いをしなかった」「まとめ洗いで汚れ落ちがイマイチ」の率が高く、手間削減によるクオリティー低下が気になる人が多い傾向。

白系トップス所持数は平均5.6枚、3年未満で「くすみ・シミ・襟首や袖口の汚れ」を理由に処分することが多い

- 主婦の白系トップスの所持数は「3～5着」38.0%、「6～8着」21.3%がボリュームゾーン（平均5.6枚）。白系の衣服は3年未満で処分する人が6割近く。ほかの衣服より早く処分することが多いという人が約4割。
- 白系の衣服を処分する理由の1位は「全体的に色がくすんだ」で、約8割。次いで「目立つシミ」「襟首や袖口の汚れ」と、白系の衣服だとより目立つ汚れが上位に。
- 白系以外の衣服を処分する理由の1位は「穴が開いたり、破れた」65.5%。次いで、「目立つシミ」59.3%、「全体的に色がくすんだ」55.4%。どちらの場合も「トレンドではなくなった」という理由を選んだ人は少なめだが、白系の衣服はより少なく14.0%。

「食べこぼしなどのシミ」が落ちなくてがっかり

「襟首・袖口の汚れ」「くすみ」など蓄積する汚れも気になる

- 衣服に落ちない汚れがついて、がっかりすることが「よくある」「時々ある」合わせて約8割。汚れの種類で最も多いのは、「食べこぼしなどのシミ」77.4%。次いで、「襟首・袖口などの汚れ」「くすみ」など、着ているうちに蓄積する汚れが上位に。
- 洗濯物の放置時間が長いと、汚れが落ちにくくなることを「知っている」が8割超。

最も効率化できていない家事は「アイロンがけ」(約8割) どの家事も半数以上が効率化できていない

- 5年前と比べて、家事の効率化ができていないかを5つのジャンルで聞いた。「変わらない」「あまりできていない」「できていない」の回答を合計して、効率化できていない順に並べると①アイロンがけ81.1%、②掃除70.9%、③洗濯65.6%、④食器洗い58.1%、⑤料理58.0%。どの家事も半数以上の高い割合で、家事の効率化の難しさが窺える。
- 家事の中で頻度を減らしたいものの上位は「部屋の掃除・片付け」49.3%、「アイロンがけ」44.0%、「料理」36.9%。働き方別で比較すると、専業主婦は「食材の買い物」のポイントが高い。フルタイムワーク主婦と、パート・アルバイト主婦は「洗濯」のポイントが専業主婦より高い。

【実施日時】 8月2日（水）～8月6日（日）

「リビングWeb」「シティリビングWeb」「あんふあんWeb」でのアンケート

【調査対象】 同居する子どものいる、20代～50代の女性（全国） 有効回答数 /800

【設問】

Q1.あなたの夫の働き方を教えてください。

Q2.あなたは自分が忙しいと思いますか？ その理由も教えてください。

Q3.次の家事の中で、あなたが特にストレスを感じるものは何ですか？（複数回答）

その理由も教えてください。

Q4.あなたの家庭では、洗濯は誰がしているかを教えてください。

Q5.Q4で「夫婦で分担」と答えた方にお聞きます。次の作業はどちらが担当していますか？

洗濯物を洗う／洗濯物を干す／洗濯物をたたむ・しまう

Q6.Q4で「夫婦で分担」「主に夫が担当」と答えた方にお聞きます。夫の洗濯方法や仕上がりに不満はありますか？ ある人は、どんなところが不満ですか？

Q7.Q4で「主に自分（妻）が担当」と答えた方に伺います。その理由を教えてください。（複数回答）

Q8. Q4で「主に自分（妻）が担当」と答えた方に伺います。本音では、夫と分担するか、夫に任せたいですか？

Q9.「アイロンかけ」は誰の担当ですか？

Q10.Q9で「夫婦で分担」「主に夫が担当」と答えた方に伺います。夫のアイロンかけの方法や仕上がりに不満はありますか？ ある人は、どんなところが不満ですか？

Q11.Q9で「主に自分（妻）が担当」と答えた方に伺います。その理由を教えてください。（複数回答）

Q12. Q9で「主に自分（妻）が担当」と答えた方に伺います。本音では、夫と分担するか、夫に任せたいですか？

Q13.あなた自身がアイロンかけをする頻度はどれくらいですか？

Q14.あなた自身がアイロンかけにかかる時間は増やしたいですか？ 減らしたいですか？

Q15. Q14で「減らしたい」と回答した方、その理由を教えてください。（複数回答）

Q16.あなたの家庭で洗濯をするのは、主にいつですか？

Q17.あなたの家庭で主に洗濯をする時間帯はいつですか？

Q18.あなたの家庭では、洗濯の頻度はどれくらいですか？

Q19.あなたの家庭では、洗濯の頻度を増やしたいですか？ 減らしたいですか？

Q20. Q19で「減らしたい」と答えた方、その理由を教えてください。（複数回答）

Q21.あなたの家庭では、洗濯の頻度は5年前と比べて変わりましたか？

Q22.Q21で「減った」と答えた方へ。1週間の洗濯回数は、どれくらい減りましたか？

Q23.Q21で「減った」と答えた方、その理由を教えてください。（複数回答）

Q24.Q21で「減った」と答えた方へ。5年前と比べて、洗濯の回数が減ったことで、1回当たりの洗濯物の量は増えていますか？

Q25.Q24で「はい」と答えた方、増えたことに対して何か対策はしていますか？（複数回答）

Q26.洗濯について、あなたの考えに最も近いのは、次のうちどれですか？

Q27.あなたは、洗濯物の洗い分けをしていますか？

Q28.Q27で「ほぼ毎回分けている」「時々分けている」と回答した方、どのようにしていますか？（複数回答）

そのような洗い分け方をしている理由も教えてください。

Q29.Q27で「ほとんど分けていない」「分けていない」と回答した方、その理由を教えてください。（複数回答）

Q30.洗濯やアイロンがけについて、どのような効率化をしていますか？（複数回答）

Q31.洗濯に関することで、あなたが体験したことがあるものを選んでください。（複数回答）

Q32.あなたは白系のトップス（Tシャツやカットソー、ブラウスなど）を何着持っていますか？

※ニット類・アウターは除く

Q33.白系の衣服は、大体どれくらいで処分しますか？

Q34.白系の衣服を処分するタイミングは、ほかの衣服と違いますか？

Q35.白系の衣服を処分するのは、どんな時ですか？ 多い理由を最大5つまで選んでください。

Q36.白系ではない衣服を処分するのは、どんな時ですか？ 多い理由を最大5つまで選んでください。

Q37.自宅で洗濯をしていて、衣服に落ちない汚れがついてがっかりすることはありますか？

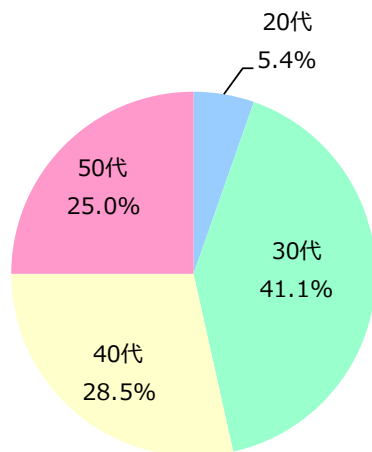
Q38.Q37で「よくある」「時々ある」と答えた方へ。それはどんな汚れですか？（複数回答）

Q39.洗う前の洗濯物を放置している時間が長いと、汚れが落ちにくくなることを知っていますか？

Q40.5年前と比べて、あなたの家庭で次の家事はどれくらい効率化できましたか？

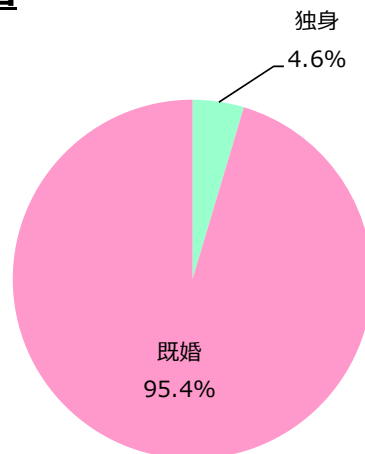
Q41.次の家事の中で、頻度を減らしたいと思っているものは何ですか？（複数回答）

年代

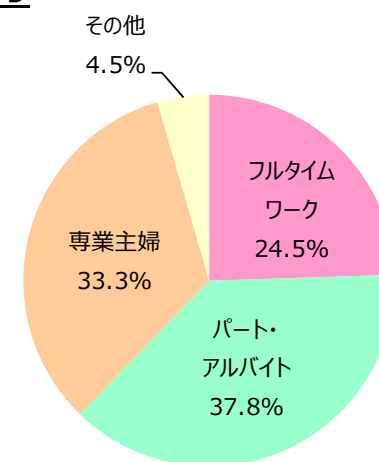


平均年齢 42.02歳

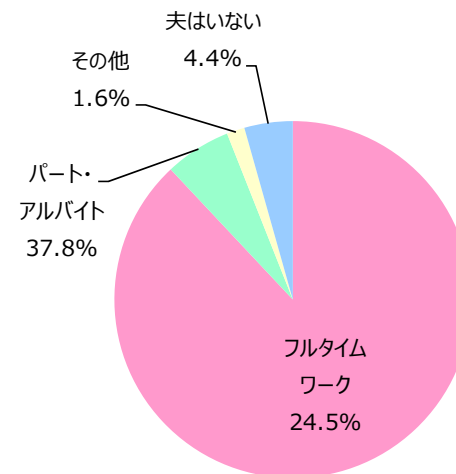
結婚



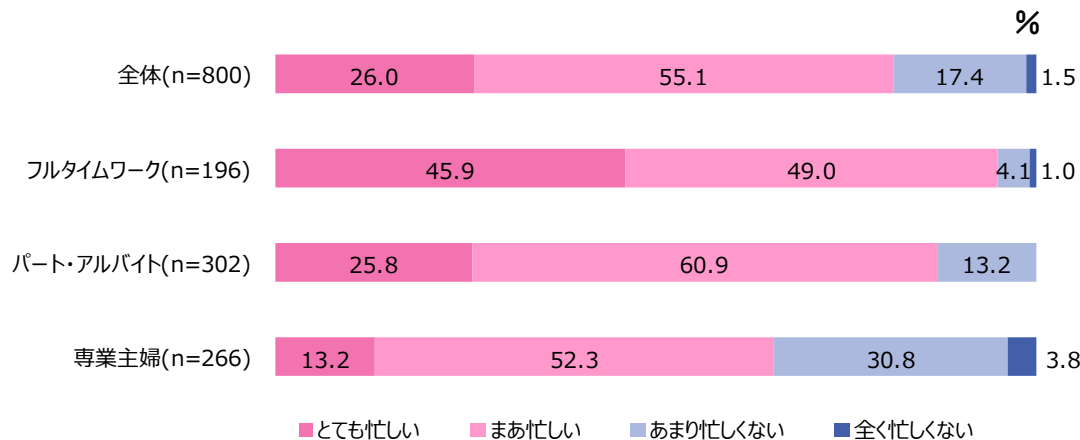
働き方



夫の働き方



【全体+働き方別】 自分が忙しいと思うか？



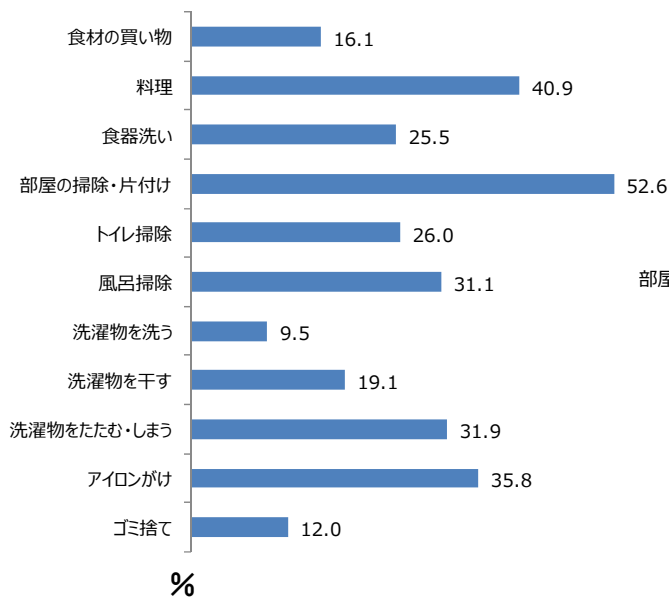
自分が忙しいと思っているかどうか聞くと、「とても忙しい」「まあ忙しい」合わせて約8割。フルタイムワークの主婦は「とても忙しい」が5割近くいて、「まあ忙しい」と合わせると94.9%。専業主婦は「とても忙しい」という人は1割強だが、「まあ忙しい」も含めると65.5%は「忙しい」と感じている。

自分が忙しいと思うか？	年齢	働き方	理由
とても忙しい	41	フルタイムワーク	仕事と育児と家事と町内の役 土日は子供の少年野球の付添で自分の時間が全くない。
	36	その他	夫の家事負担は朝の子供の保育園送迎。帰宅時間が10時近いので、時短勤務後の妻のほぼワンオペ状態です。
	33	フルタイムワーク	フルタイムの仕事、家事、2歳の育児。夫は家事全般がほぼできない、しても中途半端で二度手間なので結局は負担が大きいです。
	31	パート・アルバイト	主人もかなり手伝ってくれるけど、働きながら2人の子どもの子育て、習い事、習い事のイベントへの出演、お仕事、家事・洗濯、お弁当2つ作る…など時間が足りない。
	42	専業主婦	主人と中学生の娘、幼稚園の娘ともにお弁当で、幼稚園には送り迎えもある。お迎えのあとは、習い事や、友達との公園に…夕方帰ると、お腹すいたの大合唱。付き合いも多く、用事はたまる一方です。
	42	フルタイムワーク	毎朝5時過ぎに起きて、主人、娘達2人のお弁当を作っています。仕事が終わったら夕飯の準備に追われ、塾の送り迎え、毎日へとへとです。
	39	フルタイムワーク	仕事は時短の為残業にならないよう昼休みやトイレも我慢して働いて、急いで帰って1歳の子供のご飯とお風呂、寝かしつけてから、大人のご飯と残りの家事や保育園の準備。30分も休んでる暇もない。
まあ忙しい	44	パート・アルバイト	昼間は家事と仕事、夕方は毎日習い事送迎と炊事、夜は子供の勉強を見て、友達と会う時間もとれない。夫は家事炊事育児ノータッチ。
	55	フルタイムワーク	高齢の母と同居を始めましたので、今までの生活+高齢向けのお食事やお世話がありますので。
	54	専業主婦	娘が子供を産んだばかりで、その世話を手伝っているのと、年老いた義理の親の世話をしているから
	28	専業主婦	夫と1歳児の3人ぐらですが、月の半分程度は夫は出張で不在。しかも長期でドカンと出張ならまだしも、1泊や2泊で洗濯物は持ち帰りです(笑) 週末も出張準備やなんやらでワンオペ育児そのもの…。お互いの実家も遠く、頼れないので毎日がバタバタです。
	31	フルタイムワーク	育児と仕事でバタバタはしているが、家事の手は抜いているし、夫が育児に積極的なので「とても」というほどは忙しくないと思うので。
	37	専業主婦	3人の子供の世話や用事がある時は忙しいと感じるが、今日はもうだめだと思ったら手を抜いて家事をこなす時もあるからかな。
あまり忙しくない	52	パート・アルバイト	パートをしながら、犬2匹の世話、夫と社会人、大学生の息子たちは家事をしないし、町内会などのことも全部私の役目
	39	専業主婦	幼児2人おり、幼稚園の係を幹事を含め4つあり、加工食品(ハム、ソーセージ、ピクルス、パン、ジャムなど)も手作りしているため。
	30	その他	疲れるときは家事休みます。洗濯物が溜まっても、掃除機かけなくても死にはしない。ごはんもお惣菜に頼ります。頑張ってるつもりだけど、ぜんぶ完璧にやろうとして、精神的にダメになってしまったことがあるので疲れたときは手を抜きます。なので忙しいけど、あまり忙しくないかな？ムリはしない
	26	専業主婦	3歳の息子と1歳の娘がいますが 息子は幼稚園で昼間はいないし 娘も1人遊びできるようになってきたのであまり忙しくないです。夫はかなりのイクメン、洗濯好き、きれい好きなので家事もやってくれます。
	40	専業主婦	子供の手も離れかけて自分の時間が普段は多く取れる。

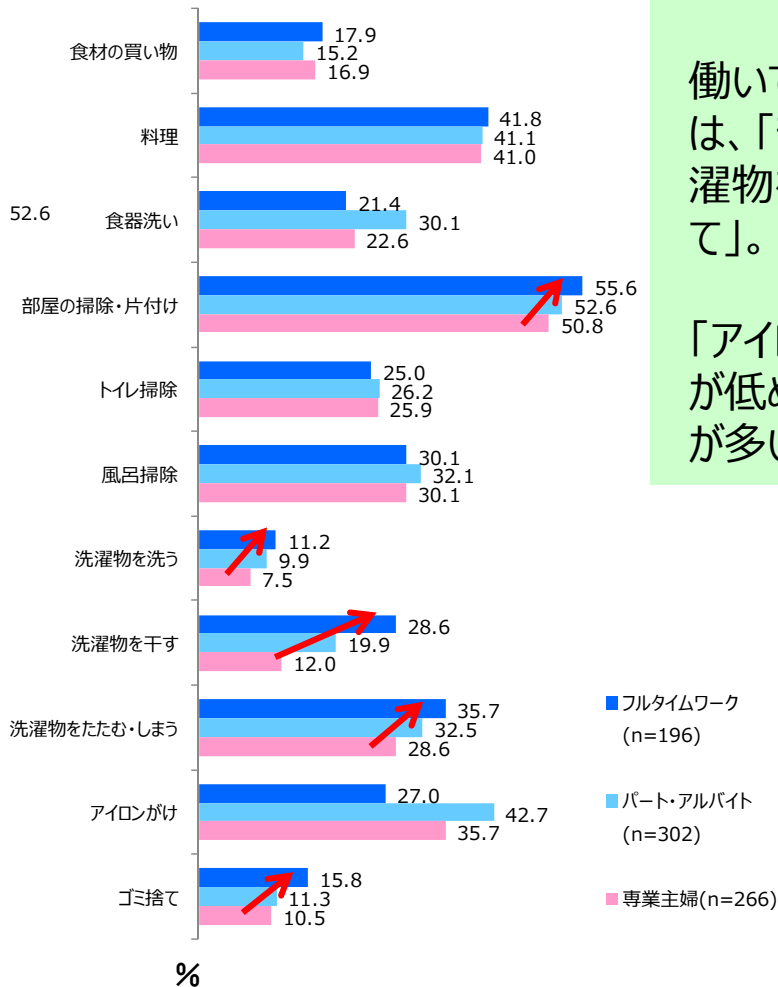
家事の中で、特にストレスを感じるもの

※複数回答

【全体】



【働き方別】



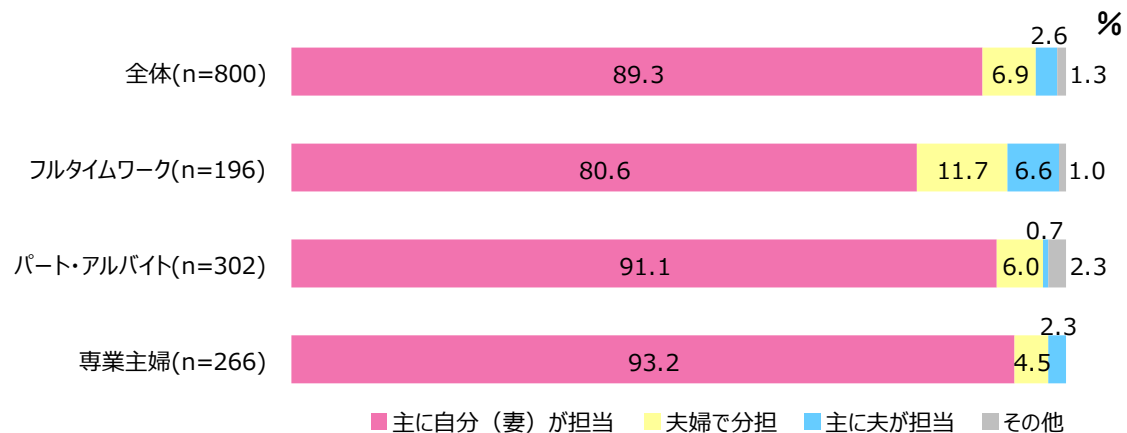
特にストレスを感じる家事の上位は、
 ①部屋の掃除・片付け52.6%、②料理40.9%、③アイロンがけ35.8%、④洗濯物をたたむ・しまう31.9%、⑤風呂掃除31.1%。

働いている人のほうがよりストレスを感じているのは、「部屋の掃除・片づけ」「洗濯物を洗う」「洗濯物を干す」「洗濯物をたたむ・しまう」「ゴミ捨て」。

「アイロンがけ」はフルタイムワーク主婦のストレスが低めだが、これはアイロンがけをあまりしない人が多いためと思われる（12ページ参照）。

年齢	働き方	居住地	ストレスを感じる家事と、理由
33	パート・アルバイト	東京都	仕事、保育園お迎えから帰宅して、必要事項を先にやると必ず最後になるのが、部屋の片づけ・掃除、洗濯物を干す・たたむ・しまう。洗濯干しは夜寝かしつけのあとにやらないと、朝はバタバタして出来ない為体力的にもキツイ。
36	その他	兵庫県	食器洗い、風呂掃除、洗濯物を洗う・干す・たたむ・しまうのは、夫でもできる仕事で、夫帰宅後の10時すぎでもできるだろうから。全てワンオペで回して眠るのが12時過ぎ。夫は先にすでに眠っています。
28	専業主婦	愛知県	部屋を片付けてもすぐに子供が散らかす。
37	専業主婦	千葉県	アイロンがけは時間がかかる割に綺麗に仕上がらない
39	パート・アルバイト	滋賀県	食材の買い物をしてからの帰宅だと、料理に取りかかる時間が遅くなり、なるべく子どもには早い時間に夕食を食べさせたいのにそれが出来ない事が相当なストレスになる
35	フルタイムワーク	神奈川県	料理は、せっかく作っても子どもが食べてくれないとグッタリしてしまう。お風呂掃除は少し掃除しないと、すぐにカビてしまい、それを落とすのに苦労する。
33	その他	神奈川県	料理はメニュー決めが大変！栄養バランスや品数を…と思うと難しい。また、料理の後片付けが面倒くさい。
55	パート・アルバイト	大阪府	掃除は、みんな散らからさなければいけないのですべてをきれいにしようと思うものすごく時間がかかるしあちこちにいろいろなものを置くので掃除がしにくい。洗濯はみんな体が大きいので毎日2、3回はしないといけないので干すだけでも大変。アイロンがけは毎日1～3枚出されるのでそのほとんどがすぐくわになりやすい素材なのでアイロンがかかりにくくて大変だから。
34	専業主婦	兵庫県	食器洗いは、洗い物が多いので食洗機2回はしないとダメ。洗濯物も多いので同じく2回か3回、回しています。それを片付けるのは一苦労です。
45	フルタイムワーク	福井県	アイロンは暑いと思うようにシワが取れなくてイライラしてしまう。アイロン台をだすのも面倒です。
39	専業主婦	大阪府	片付けは、いくら片付けても片付かない。掃除をしても、すぐ汚れる。洗濯は、家族が多く、着替えをこまめにするので、洗濯ものの量が多く、たたみしまうのに追われています。アイロンは、Yシャツと普段着にもかけるのですが、子供が小さいので、かける時間が夜中しかないのでつらい。
46	パート・アルバイト	兵庫県	料理は、毎日の献立を考えるのがめんどろ。風呂掃除は、きれいににならない。洗濯物は、黄ばみや汚れがきれいにとれない。などに、ストレスを感じます。
45	専業主婦	大阪府	トイレ掃除は、汚すのが自分ではないし、汚しても知らん顔をしている夫が腹立たしいです
56	パート・アルバイト	大阪府	主人のワイシャツは汚れている襟などを下洗いして、生乾きのときにアイロンをかけるのが時間がかかります。
35	専業主婦	埼玉県	子どものアイロンがけは苦になりませんが、旦那のYシャツはうまく綺麗にアイロン出来ず、時間もかかるのでストレスが溜ります。料理は家族の好き嫌いが多く料理の種類を多く作らないといけないし、献立を決めるのがめんどくさく「また同じ？」と言われるとイラッとします。じゃあ、文句言わないでだされたものを食べてほしい。
38	パート・アルバイト	神奈川県	掃除しても掃除しても、子どもが散らかしていくので、また一時間後には繰り返しか…と思うと きがなく晴れやかな気分にならない。
40	フルタイムワーク	東京都	部屋の掃除、トイレ掃除、風呂掃除等、掃除がとても苦手で、また掃除しようと思ってもまずは散らかった子供のおもちゃやその他用品を片付けてからになるのでとても面倒です。洗濯物を干すのもたたむのも、子供の服は子どものが多く、泥汚れや汗染みの下洗いがとてもストレス。
36	パート・アルバイト	東京都	料理はテキパキできず、センスもないためストレスです。
47	パート・アルバイト	神奈川県	買い物の時間を捻出するのは難しい。料理は時間はかかるのに、無くなるのは一瞬で虚しい。料理は好きだけど毎日必ず時間内に作らないといけないのがストレス
52	フルタイムワーク	埼玉県	フルタイムで働いているので、時間がないということと、疲れている。特に、洗濯は干すまでは良いのですが、たたんでしまうというのが追い付かず、たたまないまま着ていくということもたまにあります
37	専業主婦	東京都	今、主人が肉、卵を断っている。只でさえ、料理が得意ではないのに、魚、煮物などで考えなくてはならないから。
40	パート・アルバイト	京都府	料理→メニューがパターン化されてしまい自己嫌悪中です。洗濯モノたたみと片付け→意外と時間がかかる為。アイロン→時間がかかる割に一瞬で効果はなくなる為です。
43	パート・アルバイト	神奈川県	「食材の買い物」もともと買い物あまり好きでないため。「風呂掃除」腰が痛くなるから。「洗濯物を干す」自分の好きなときにできるわけではなく、どんなに疲れていて眠たくても 子どもの汗だくの洗濯物を子どもの時間にあわせて 洗濯しなくてはいけないから。「洗濯物をたたむ・しまう」時間をかけてたたんでも あまり感謝されず、放置されてしまうから。「アイロンがけ」夏は暑いから。

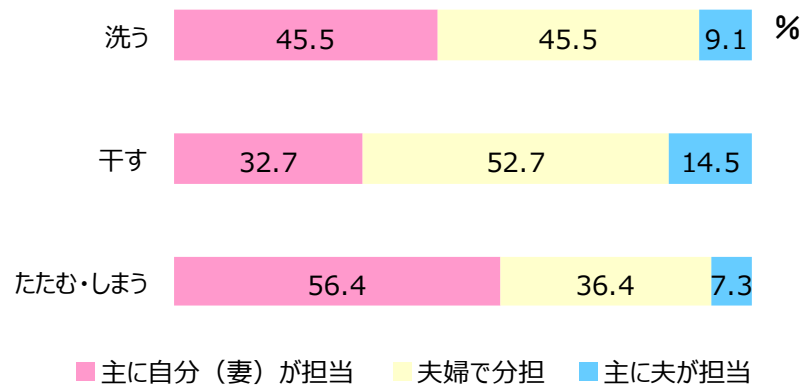
【全体+働き方別】 洗濯は誰が担当しているか？



洗濯の担当は、約9割が「主に自分（妻）」。
フルタイムワークの人は「夫婦で分担」「主に夫が担当」が多めだが、それでも2割弱。

夫婦で分担している人（n=55）で、夫が関与している率が最も高い作業は「洗濯物を干す」67.2%。次いで、「洗濯物を洗う」54.6%、「洗濯物をたたむ・しまう」43.7%。

【全体】 分担している人の、分担状況

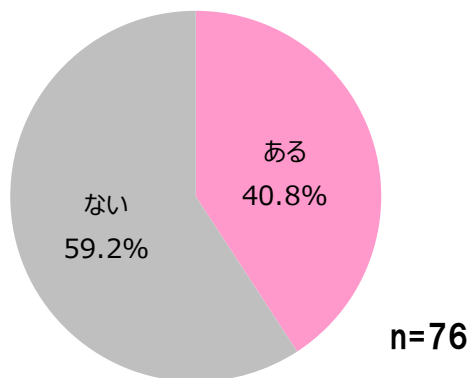


n=55

【全体】 夫の洗濯方法や仕上がりに不満があるか？

※洗濯を「主に夫が担当」「夫婦で分担」している人が回答

洗濯に夫が関与している人（n=76）のうち、夫の洗濯方法や仕上がりに不満がある人は約4割。



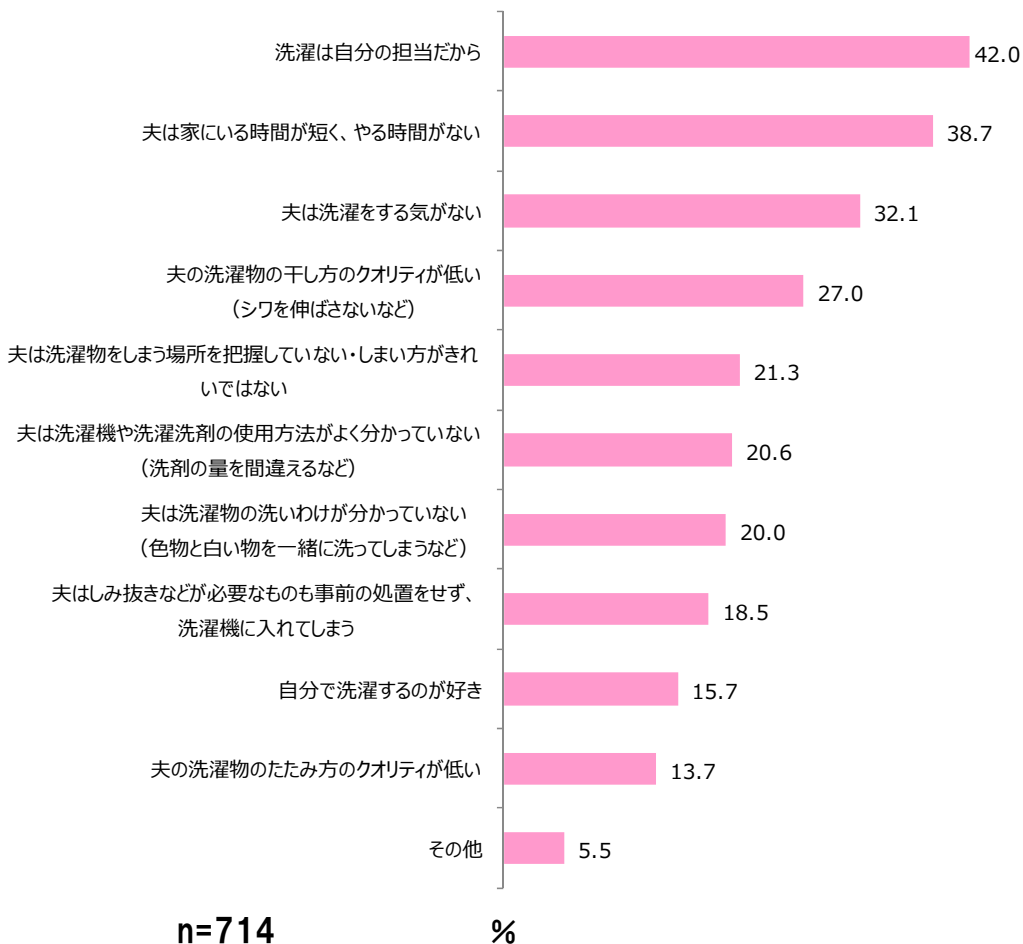
不満の内容

年齢	働き方	夫の洗濯の仕方、どんなところに不満があるか？
41	フルタイムワーク	干す時、パンパンしてシワを伸ばしてないのでアイロンが大変。
48	パート・アルバイト	いちいち確認されること、二人いる子供の洗濯物を取り違えることが不満。
53	フルタイムワーク	タオルの端っこやティシャツの袖口がくしゃくしゃのまま干してあり、乾いたらカサカサで修正きかない
28	専業主婦	手伝ってくれることはとってもありがたいんですが、たたみ方が雑でシワになっている。。
35	パート・アルバイト	夫は干してもタンスにしまってくれません。私のものはいいとして、子供のものはしまっしてほしいです！
38	フルタイムワーク	洗濯後すぐに干してくれなかったり、柔軟剤や漂白剤の使い分けができない。(単純な洗濯機の動作しかできない)
43	パート・アルバイト	洗濯機に洗濯物を詰め込み過ぎること
47	パート・アルバイト	シワを伸ばさずに干すので衣類やタオルもしわくちゃです。何度言ってもブラジャーの紐を吊るして干すので、肩紐が伸びるのが心配です。
31	フルタイムワーク	ドライで洗うものを普通の洗濯物に混ぜてしまうことがある。
54	パート・アルバイト	絹製品などデリケートな衣類も洗濯機で洗ってしまうことがあるから。

【全体】洗濯を主に自分（妻）がしている理由

※複数回答

※洗濯を「主に自分（妻）が担当」している人が回答

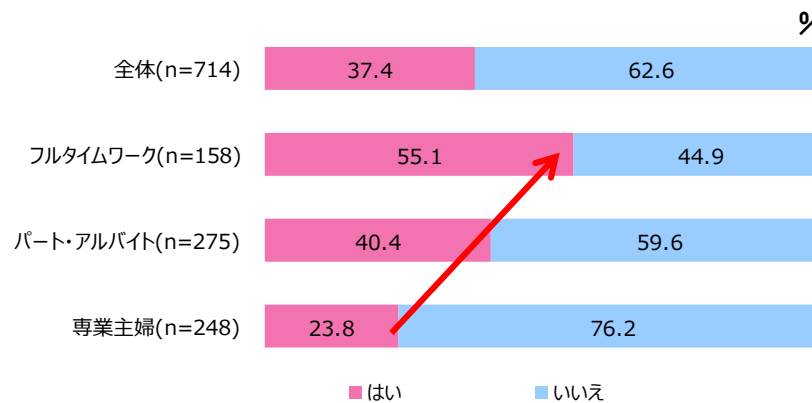


「主に自分（妻）が担当」している人に、その理由を聞くと、「自分の担当だから」が4割強で最多。次いで、「夫は洗濯する時間がない・する気がない」という理由が上位に。

また、「本音では、夫にも洗濯してほしい」という人が4割近く。働いている人ほど、割合が高く、フルタイムワークの人は55.1%。

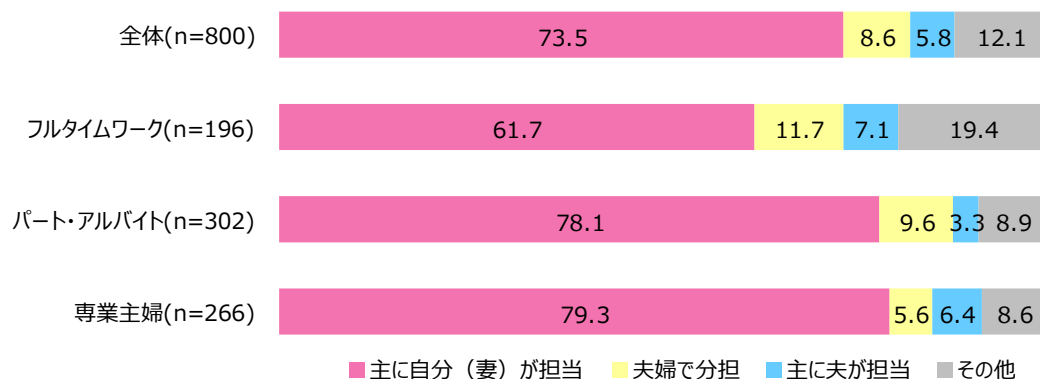
【全体】本音では、洗濯を夫と分担するか、任せたいのか？

※洗濯を「主に自分（妻）が担当」している人が回答



n=714

【全体+働き方別】 アイロンがけは、誰の担当か？

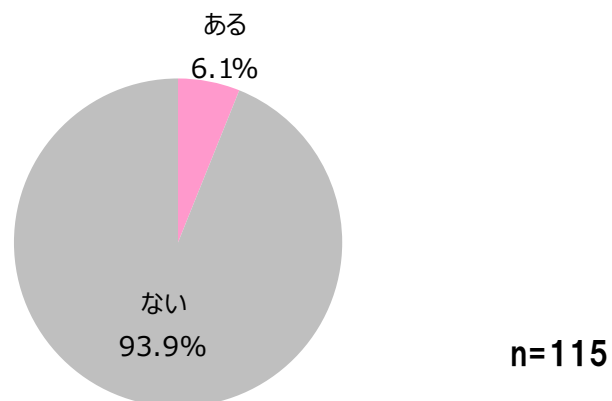


アイロンがけは「主に自分（妻）が担当」が約7割。
フルタイムワークの人は、約6割と低めだが、もともとアイロンがけをあまりしない人が多いためと思われる（12ページ参照）。

夫のアイロンがけの方法や仕上がりに不満がある人はごく少数。おそらく、アイロンがけが必要な衣類の代表はワイシャツなので、妻が不満を感じる要素が少ないからではないか。

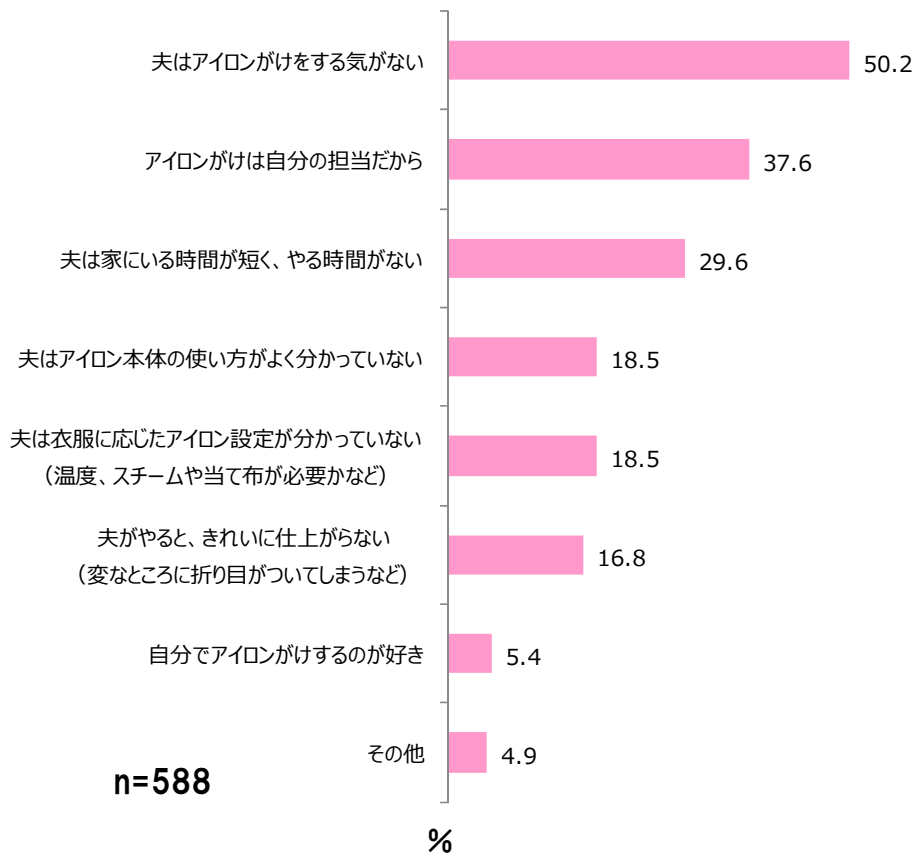
【全体】 夫のアイロンがけの方法や仕上がりに不満があるか？

※アイロンがけを「主に夫が担当」「夫婦で分担」している人が回答



【全体】 アイロンがけを主に自分（妻）がしている理由 ※複数回答

※アイロンがけを「主に自分（妻）が担当」している人が回答

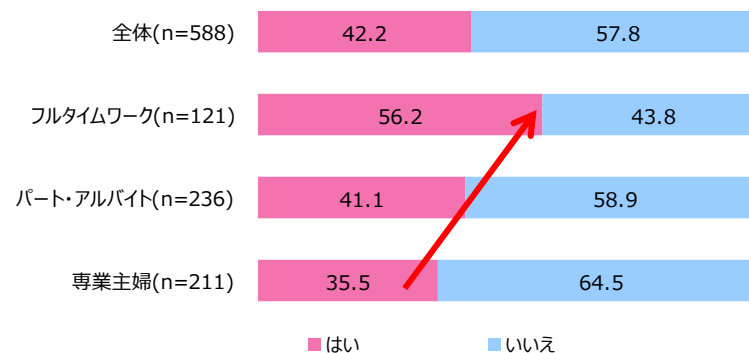


アイロンがけを主に自分（妻）がしている人に、その理由を聞くと「夫はアイロンがけをする気がない」が約5割で最多。洗濯で1位だった「自分の担当だから」は2位。これは、アイロンがけが必要なものは夫の衣類（ワイシャツなど）が多いからと思われる。

「本音では、アイロンがけを夫にもしてほしい」という人は4割超。洗濯同様、働いている人のほうが割合が高く、フルタイムワーク主婦は56.2%が希望している。

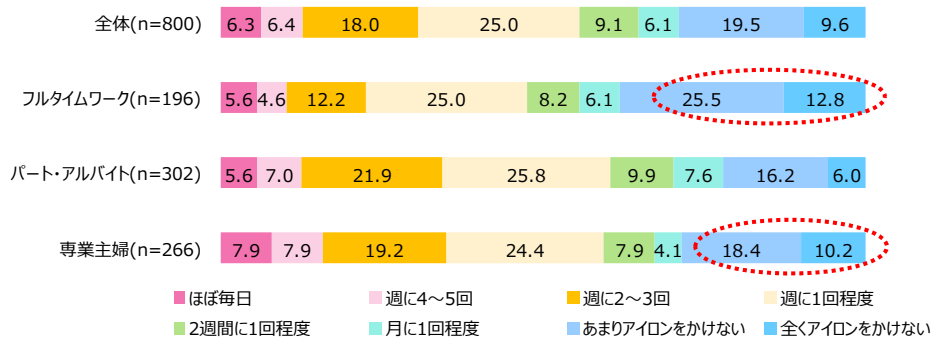
【全体】 本音では、アイロンがけを夫と分担するか、任せたいかな？

※アイロンがけを「主に自分（妻）が担当」している人が回答



n=588

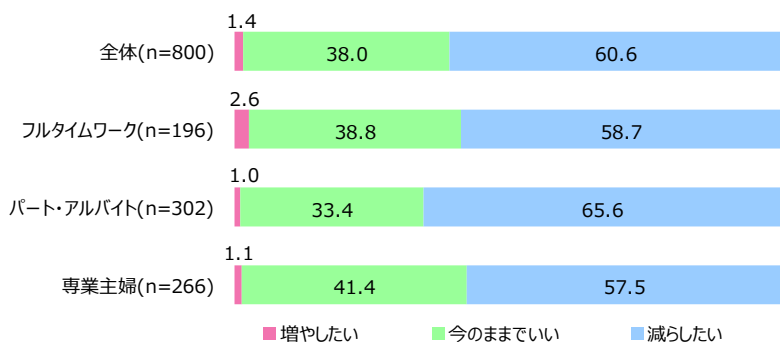
【全体+働き方別】 アイロンがけをする頻度



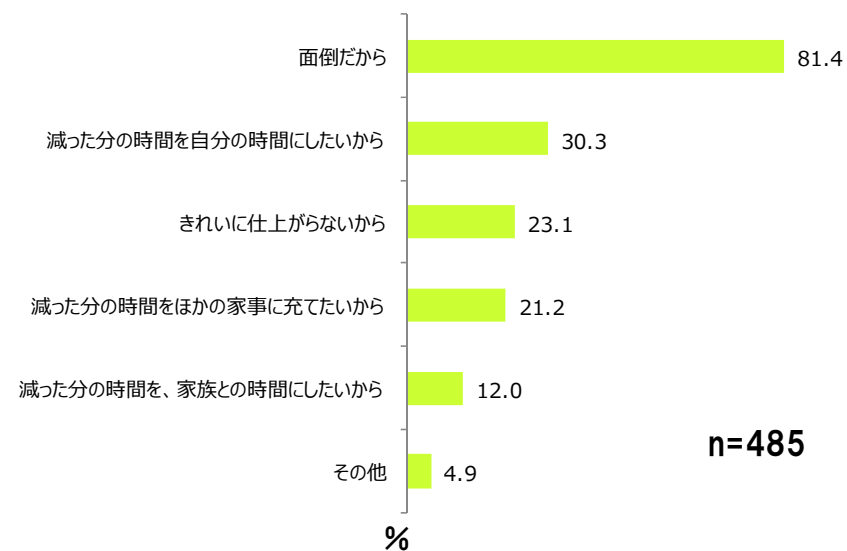
週1回以上アイロンがけをする人が、全体の55.7%。フルタイムワークの人は、「あまり」「全く」かけない人が4割近い。専業主婦でも3割近くいる。

アイロンがけの頻度を減らしたい人は約6割。アイロンがけをまめに行っている人が多いパート・アルバイト主婦は、「減らしたい」が65.6%で最も割合が高い。減らしたい理由は、「面倒だから」が約8割と圧倒的。

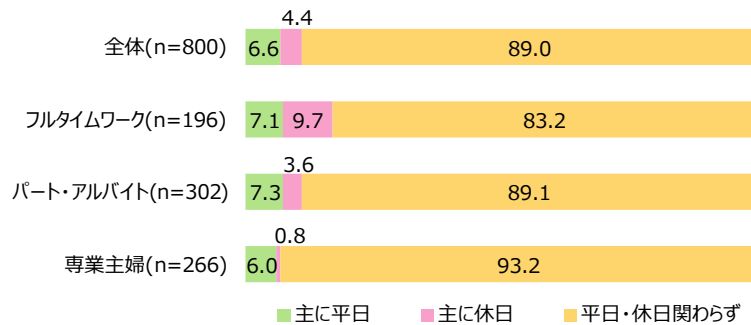
【全体+働き方別】 アイロンがけの時間を増やしたいか？減らしたいか？



【全体】 「減らしたい」と答えた理由 ※複数回答

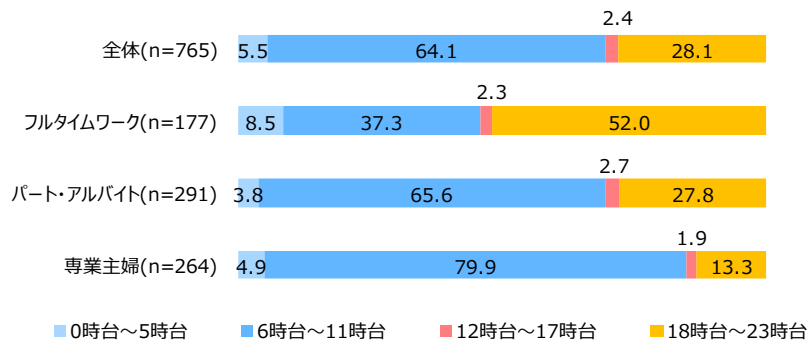


【全体+働き方別】洗濯をするのはいつ？



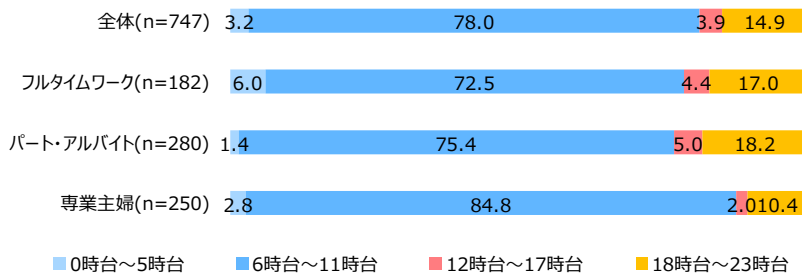
【全体+働き方別】平日に洗濯する時間帯

※洗濯を「主に平日」「平日・休日問わず」している人が回答



【全体+働き方別】休日に洗濯する時間帯

※洗濯を「主に休日」「平日・休日問わず」している人が回答



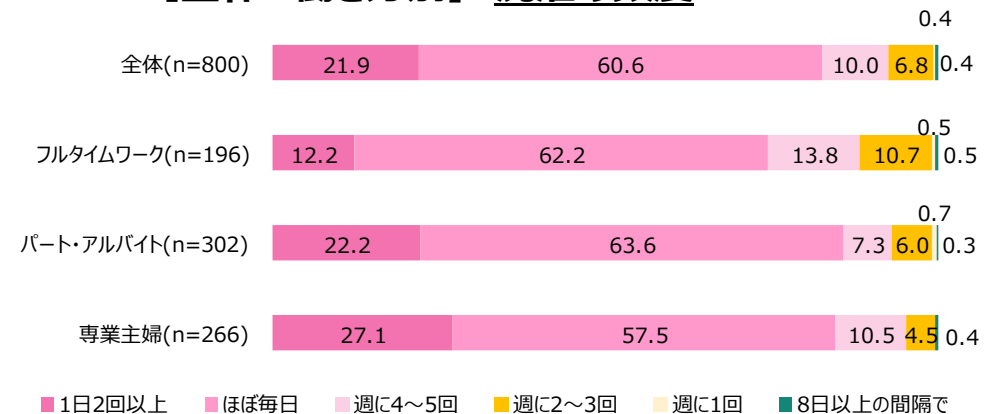
大半の人が、平日・休日関わらず洗濯をしていて、「1日2回以上」「ほぼ毎日」する人が、全体の8割超。フルタイムワーク主婦でも、7割超がほぼ毎日洗濯している。

平日に洗濯する時間帯は、働き方で大きな差があり、フルタイムワークの人は過半数が「18時台～23時台」。パート・アルバイトの人は65.6%、専業主婦は79.9%が「6時台～11時台」。

フルタイムワークの人は、「主に休日」に洗濯する人が約1割いる。

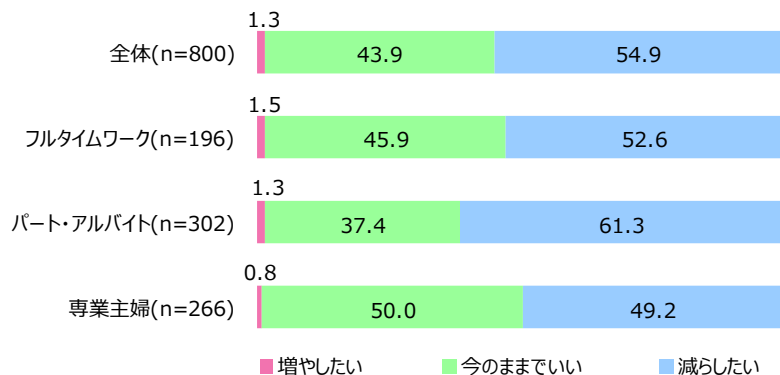
【全体+働き方別】洗濯の頻度

n=765



n=747

【全体+働き方別】洗濯の頻度を増やしたいか？減らしたいか？

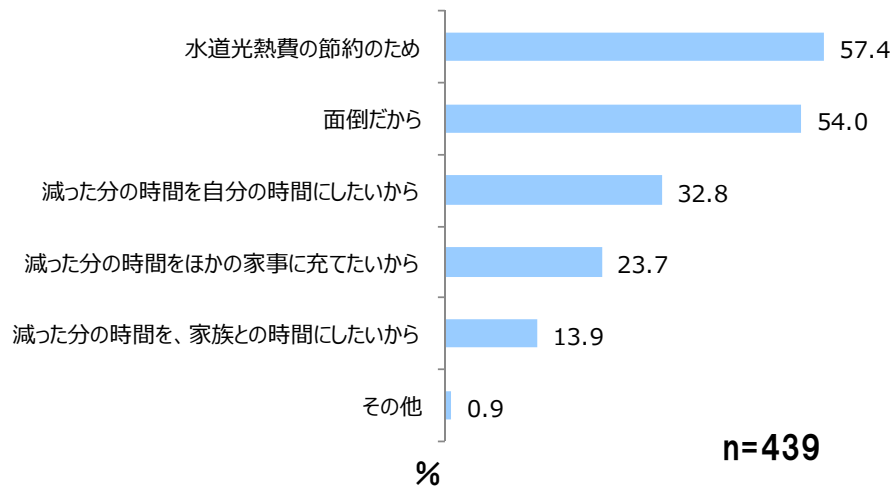


洗濯の頻度を「減らしたい」と思っている人が過半数。洗濯を「1日2回以上」「ほぼ毎日」している人の割合が高いパート・アルバイトの人のほうがニーズは高く、6割超が「減らしたい」。

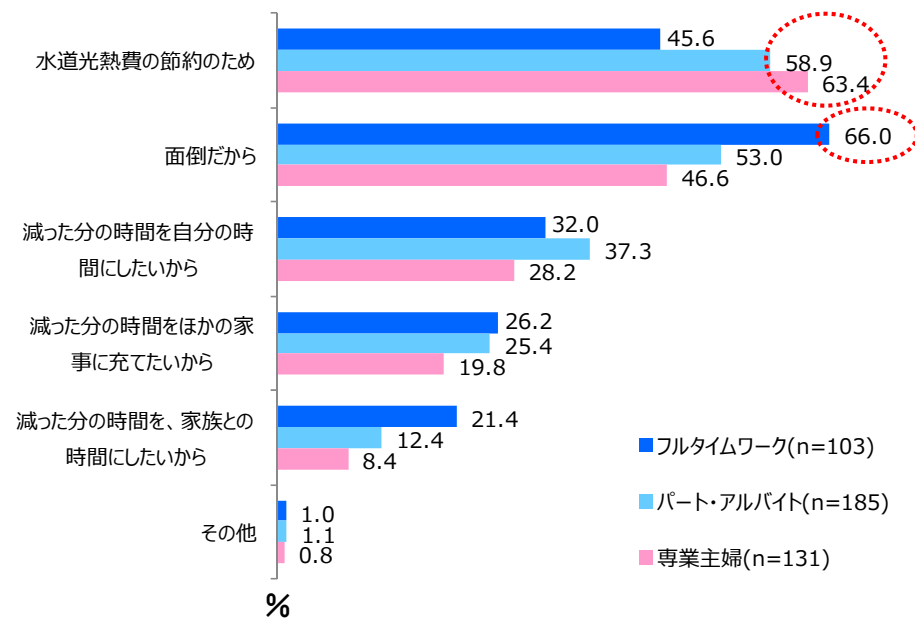
その理由は働き方で差があり、フルタイムワーク主婦のトップは「面倒だから」66.0%。パート・アルバイト主婦（58.9%）、専業主婦（63.4%）のトップは「水道光熱費の節約のため」

減らしたい理由 ※複数回答

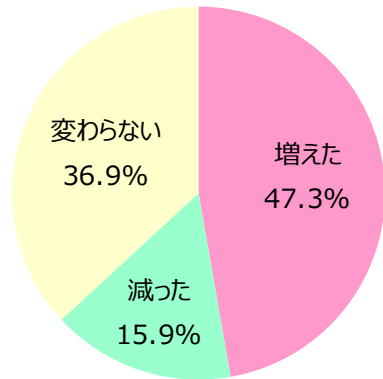
【全体】



【働き方別】

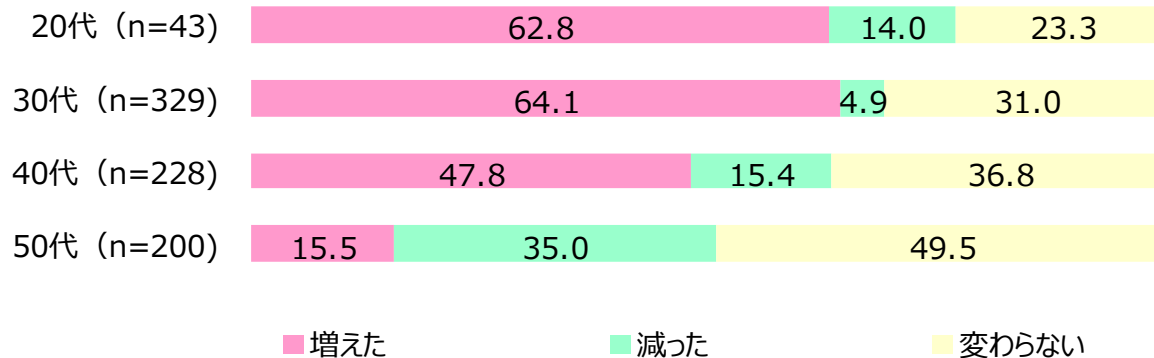


【全体】 5年前と比べて、洗濯の頻度が変わったか？



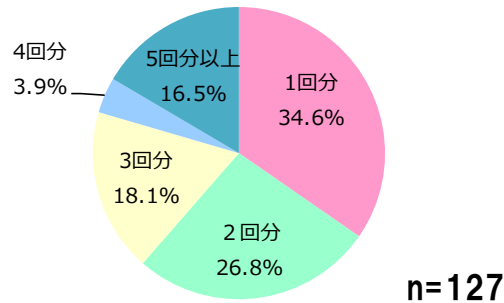
5年前と比べて、洗濯の頻度が増えた人が47.3%。年代別にみると20代（62.8%）、30代（64.1%）の割合が高いため、結婚・出産などで家族が増えたことが大きな理由と推察される。

5年前と比べて、洗濯の頻度が減った人は全体では15.9%だが、50代では35.0%とポイントが大きく増える。50代の主な理由は「子どもの成長により洗濯物が減った」(62.9%)、「同居する家族の人数が減った」(57.1%)。



【全体】
5年前と比べて、洗濯の頻度はどれくらい減ったか？

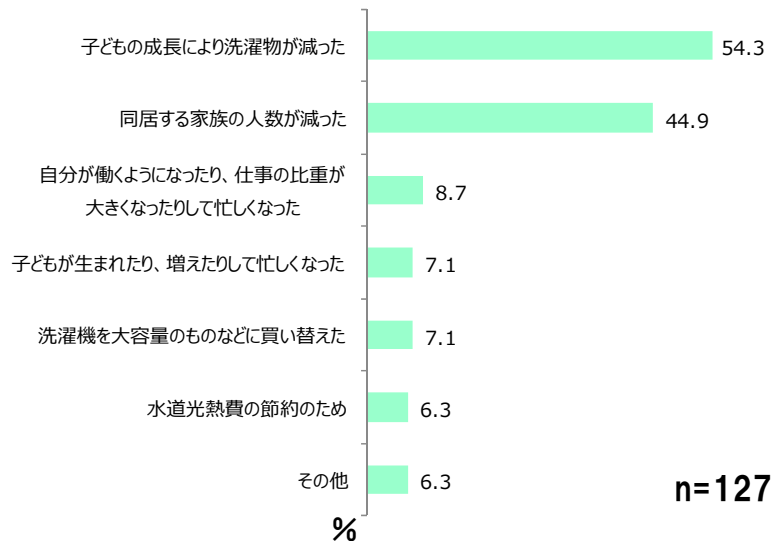
※「洗濯の頻度が減った」と答えた人が回答



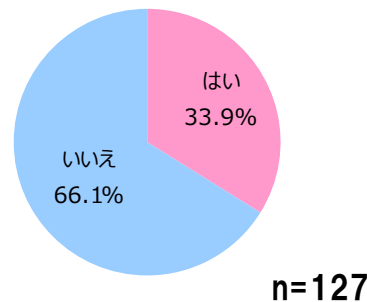
5年前と比べて、洗濯の頻度が「減った」という人に、どれくらい減ったかを聞くと、1週間に「1回分」34.6%、「2回分」26.8%がボリュームゾーン。
減った主な理由は「子どもの成長により」54.3%、「同居する家族の人数が減った」44.9%。

洗濯の回数が減ったことで、洗濯物の量が増えた人は33.9%。その対策として、洗濯機を買い替えた人が27.9%、洗濯洗剤を変えた人が20.9%いるが、過半数は「特に何もしていない」。

【全体】 減った理由 ※複数回答

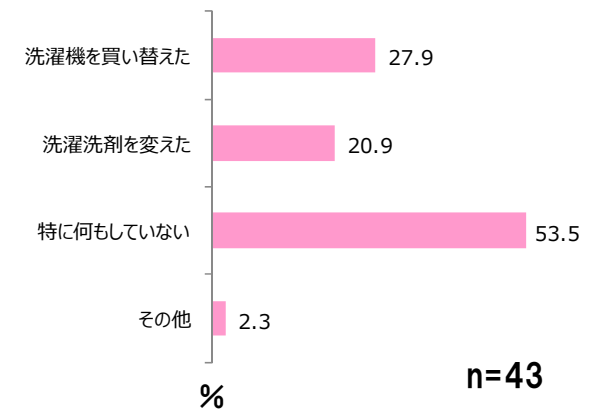


【全体】 減ったことで、1回当たりの洗濯物の量は増えたか？

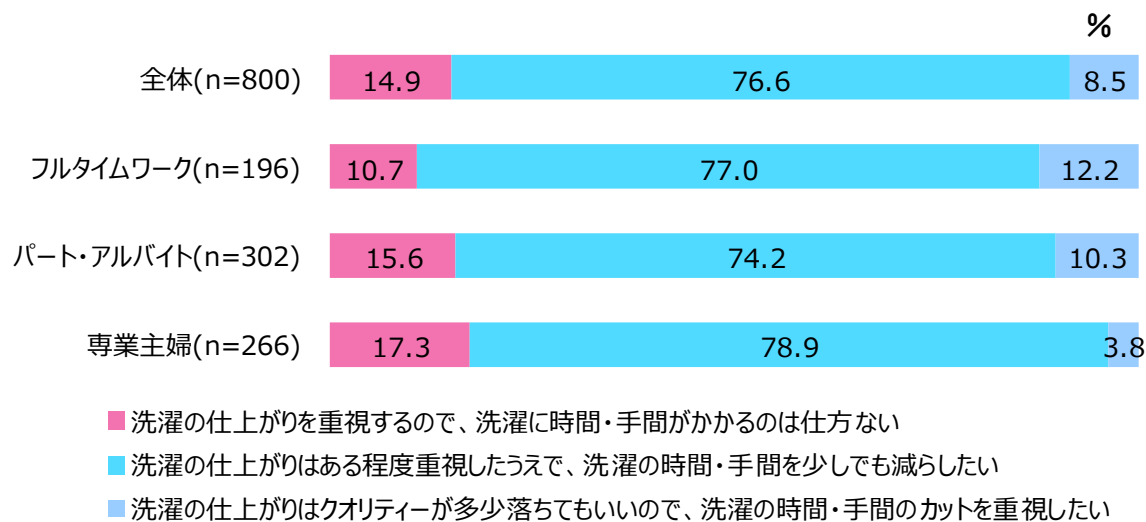


【全体】 増えたことについて、対策をしたか？ ※複数回答

※洗濯の頻度が減ったことで、1回当たりの洗濯物の量が増えたという人が回答



【全体+働き方別】 洗濯について、あなたの考えに最も近いのは、次のうちどれですか？

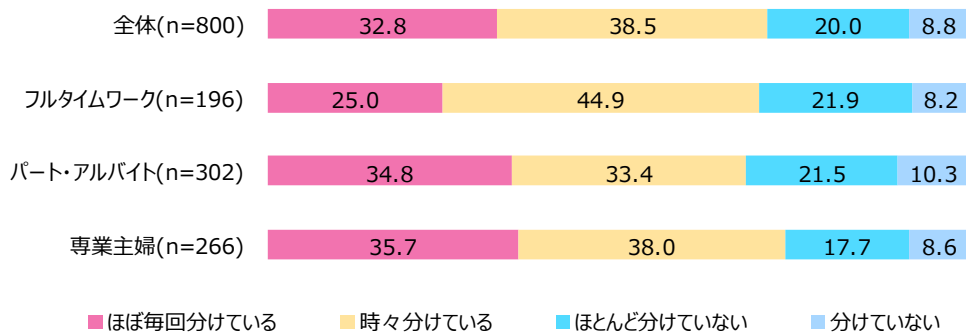


「洗濯の仕上がりはある程度重視したうえで、できるだけ手間を減らしたい」という考えの人が、全体の4分の3程度。

専業主婦・パート・アルバイト主婦は、「洗濯の仕上がりを重視するので、洗濯に時間・手間がかかるのは仕方ない」と思っている割合がやや高めだが、それでも2割に届かない。

「洗濯の仕上がりのクオリティーは多少落ちてでもいいので、洗濯の時間・手間のカットを重視」という人も、フルタイムワーク主婦、パート・アルバイト主婦は1割強。全体の85.1%が手間を減らしたいと感じており、切実な効率化ニーズが窺える。

【全体+働き方別】 洗濯物を洗い分けているか？



洗濯物の洗い分けを「ほぼ毎回」している主婦は約3割で、まめに洗いわけていない人のほうが多数派。

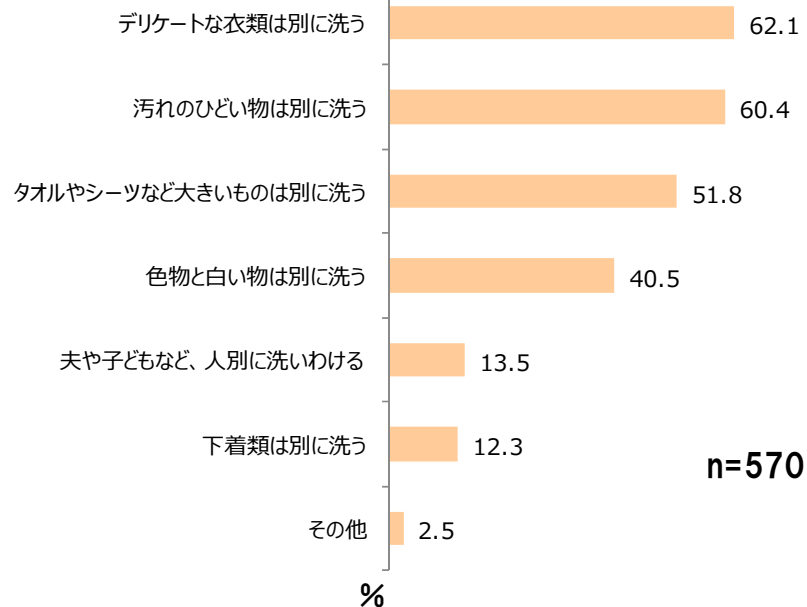
洗い分けられている率が高いものは「デリケートな衣類」62.1%、「汚れのひどい物」60.4%、「タオルやシーツなど大きい物」51.8%、「色物」40.5%。
働き方別にみると、フルタイムワーク主婦は上位4項目で他の属性よりポイントが低く、洗濯の省力化をしている傾向が強い。

どのように洗い分けているか？

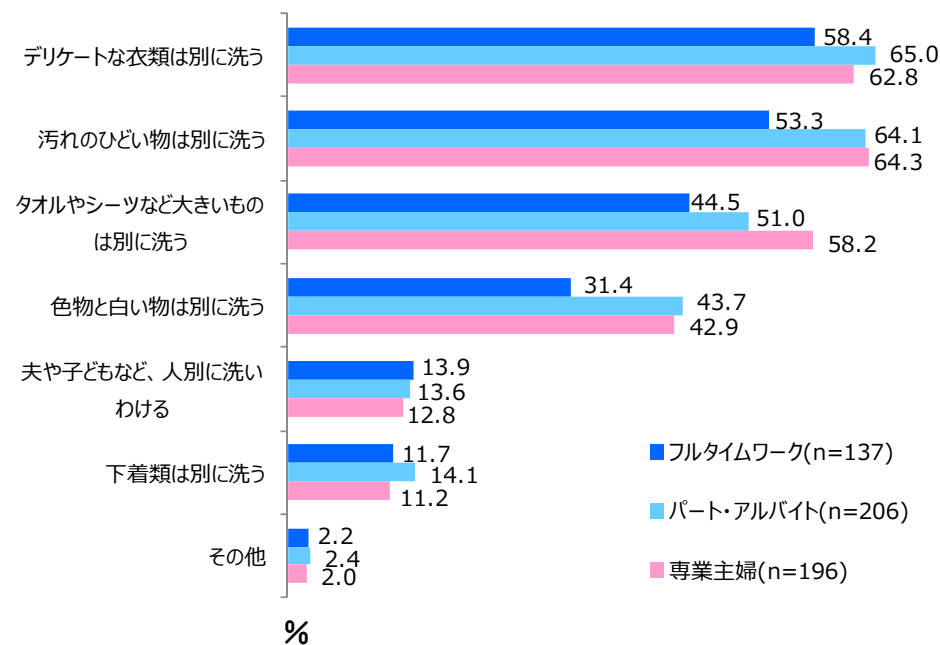
※複数回答

※「ほぼ毎回分けている」「時々分けている」人が回答

【全体】



【働き方別】



洗い分けている洗濯物の種類と、その理由

※「ほぼ毎回分けている」「時々分けている」人が回答

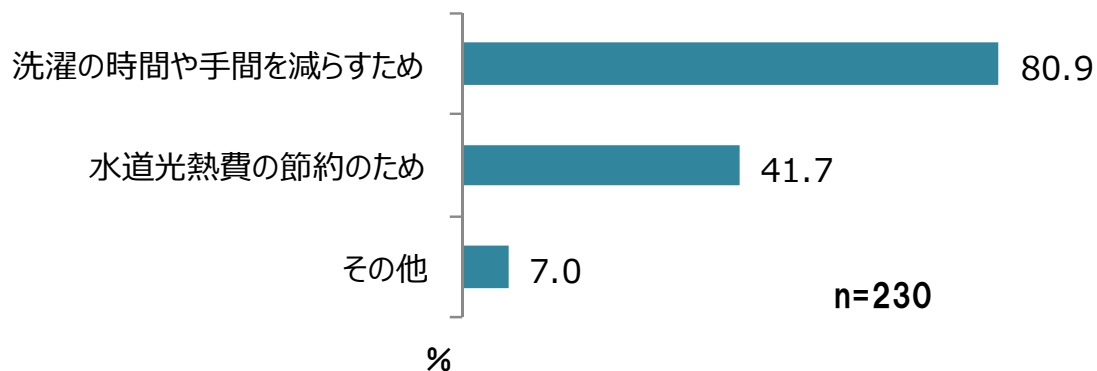
年齢	働き方	洗い分けしているもの	理由
41	フルタイムワーク	デリケートな衣類	クリーニングに出すにはちょっともったいないかな、っていうくらいのは別に手洗いしているの。
41	フルタイムワーク	タオルやシーツなど大きい物、色物、デリケートな衣類、その他(素材別)	衣服を丁寧に愛情を持って扱いたいから
27	フルタイムワーク	汚れのひどい物	足拭きマットなどは一緒に洗うと汚れが移りそうだから
54	専業主婦	汚れのひどい物、色物、デリケートな衣類	外出用やおしゃれ用の衣類などは、色や汚れが移ると困るので洗い分けをしています。
48	専業主婦	タオルやシーツなど大きい物、汚れのひどい物、デリケートな衣類	夫の作業服や子供の部活のユニフォームは汚れも臭いもひどいので下洗いするか別に洗います。デリケートなものの型崩れせずに着心地よく仕上がるから。
35	フルタイムワーク	汚れのひどい物、色物、夫や子供など人別	汚れが酷い物とそうでない物と一緒に洗うと汚れが移りそうだから。子どもと夫婦で分けているのは使う洗剤が違うから。
33	その他	タオルやシーツなど大きい物、汚れのひどい物、色物、デリケートな衣類、その他(乾燥機に入れるか)	洗剤の使い分けをしているので。普段用(子供にも使える肌に優しいもの)、パパの仕事用インナーやワイシャツ用(白くなる洗剤、抗菌機能)、色柄物(発色を良くする)など。また、タオルは柔軟剤を使わずフワフワにしたいので、必ず乾燥機をつかう。
36	パート・アルバイト	汚れのひどい物	主人の靴下のみ(ハイター液につけて)貯めて別で回します。
55	パート・アルバイト	タオルやシーツなど大きい物、汚れのひどい物、色物、デリケートな衣類、夫や子供など人別	大物と小物はわけないと汚れが落ちにくい。汚れの酷いのは別に漂白剤を入れたりしているしそれだけできちんと汚れを落としたいからから 色分けするのは色うつりしたら嫌だから デリケートなものは洗剤自体も変わるし設定も変わるから 子どもが主人と一緒にだと嫌がるから
45	フルタイムワーク	汚れのひどい物、デリケートな衣類	子供のサッカーのユニフォームは泥汚れが激しく手洗い後でも砂が落ちてくるので一緒に洗えない。デリケート衣類はシワにならないように手洗いコースで洗いたいので別洗いです。
29	フルタイムワーク	下着類、デリケートな衣類、夫や子供など人別	細菌やウイルスを広げないためにも、一人ずつ洗う。
36	専業主婦	汚れのひどい物、色物	汚れのひどい物とそこまで汚れていない物では洗濯回数をかえています。汚れのひどい物は2度洗いしないと汚れ、匂いがおちません。色物には漂白剤は使いたくないので色物と白物で洗濯をわけています。
44	フルタイムワーク	デリケートな衣類	大概のものは、効率化のためまとめて洗うが、デリケートな服だけは普通に洗うどうしても傷みが早くなってしまうので。
31	フルタイムワーク	デリケートな衣類、夫や子供など人別	子どもは肌が弱いので石けん洗剤で。旦那は柔軟剤が好きなので大人のは液体洗剤と柔軟剤を使って。
55	パート・アルバイト	タオルやシーツなど大きい物、デリケートな衣類	家で洗えるオシャレ着専用の洗剤がでてきているのでアウターのパンツなど家で洗うようになった。
34	パート・アルバイト	タオルやシーツなど大きい物、汚れのひどい物、色物、デリケートな衣類	子どもの服は泥などがついていて分ける。タオルは糸くずが気になるので分ける。おしゃれ着は洗剤が違うので分ける。
40	パート・アルバイト	タオルやシーツなど大きい物、汚れのひどい物、色物	子供の汚れたものはなかなか落ちないので漬け置きをしてから洗います
58	パート・アルバイト	下着類、デリケートな衣類、夫や子供など人別	下着やデリケートな衣類はそれ専用の洗剤を使うから。家族が人別に洗い分けることを望んでいるから。
46	専業主婦	汚れのひどい物	夫の仕事の作業着は汚れがひどいので、他のものと別に洗いたいの。
37	専業主婦	タオルやシーツなど大きい物、色物	寝具は汚れたものと別に洗いたいから

洗濯物を洗い分けしない理由

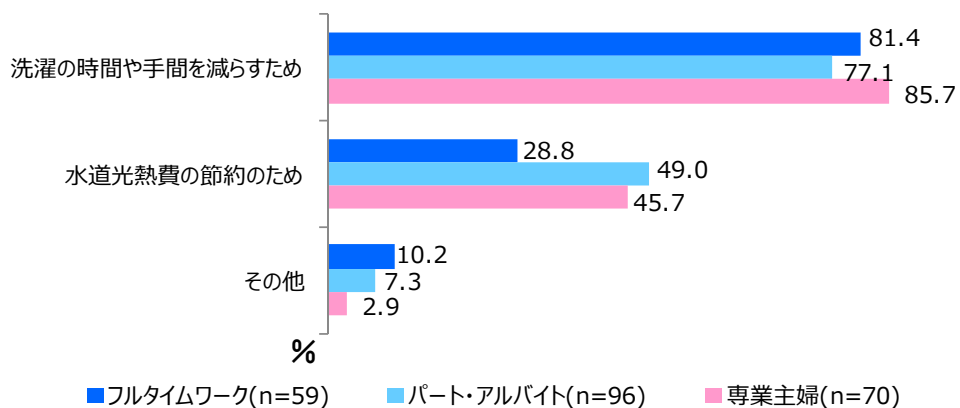
※複数回答

※「ほとんど分けていない」「分けていない」人が回答

【全体】



【働き方別】



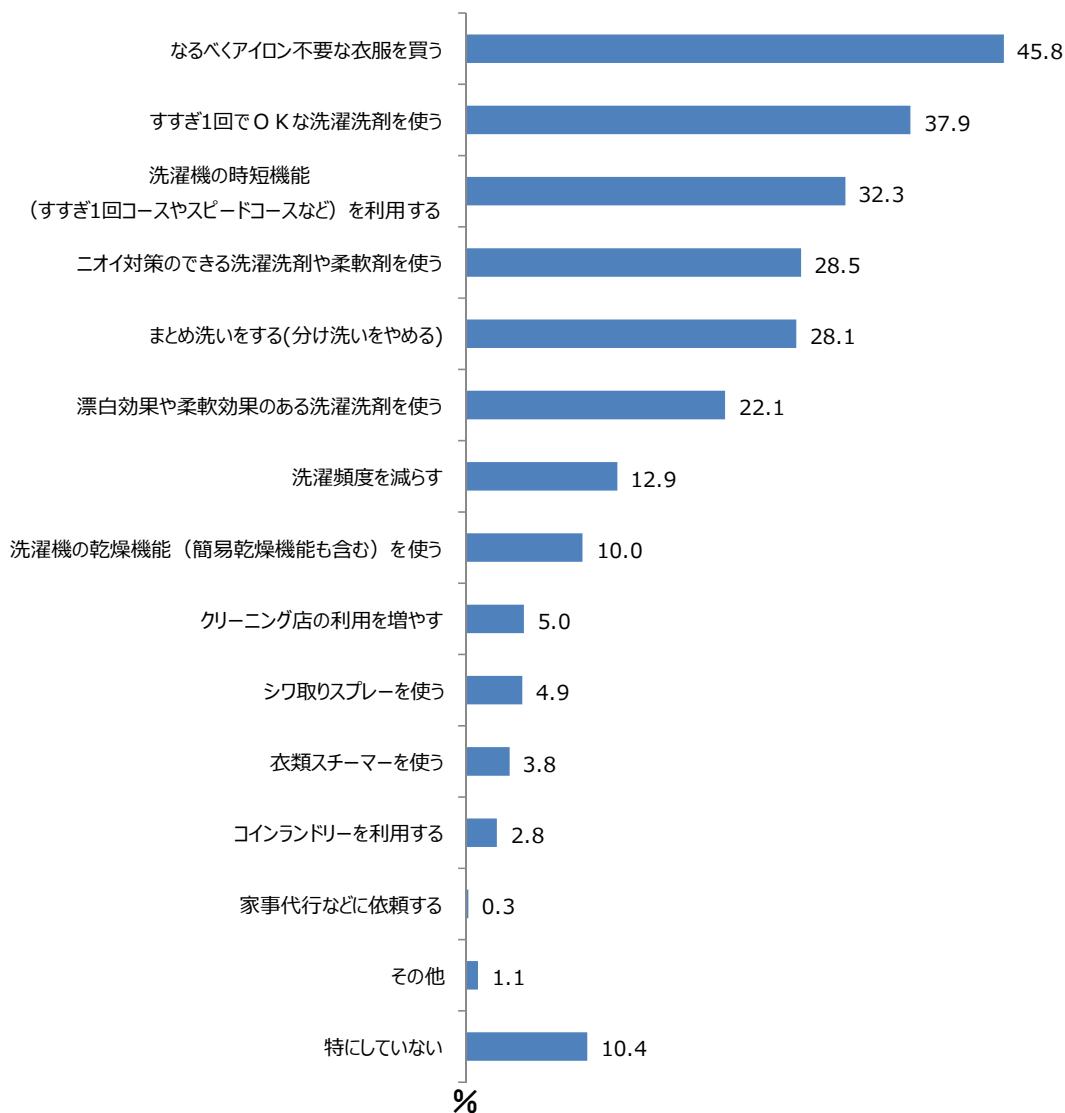
洗濯物の洗い分けを「ほとんど分けていない」「分けていない」という人にその理由を聞くと、約8割が「洗濯の時間や手間を減らすため」と回答。

「水道光熱費の節約のため」も全体では約4割を占めるが、フルタイムワーク主婦は28.8%であまり重視していない。

洗濯やアイロンがけについて、どのような効率化をしているか？

【全体】

※複数回答



洗濯やアイロンがけの効率化のためにしていることの上位は、

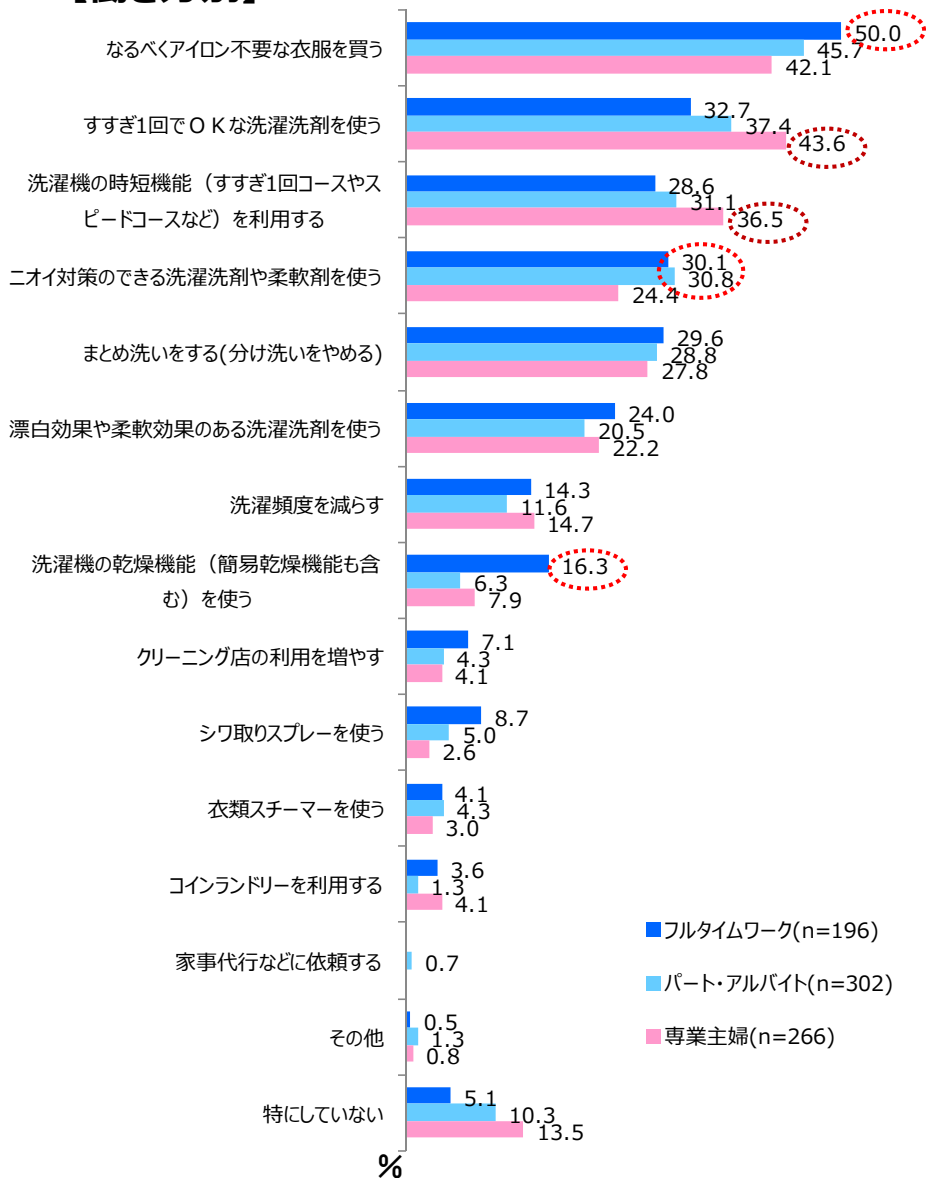
- ①なるべくアイロン不要な服を買う45.8%
- ②すすぎ1回でOKな洗剤を使う37.9%
- ③洗濯機の時短機能を利用する32.3%
- ④ニオイ対策のできる洗濯洗剤や柔軟剤を使う28.5%
- ⑤まとめ洗いをする (分け洗いをやめる) 28.1%

クリーニング店の利用を増やしたり、コインランドリーや家事代行を利用する人はかなり少なく、“洗濯・アイロンがけの外注”は進んでいない。

洗濯やアイロンがけについて、どのような効率化をしているか？

【働き方別】

※複数回答



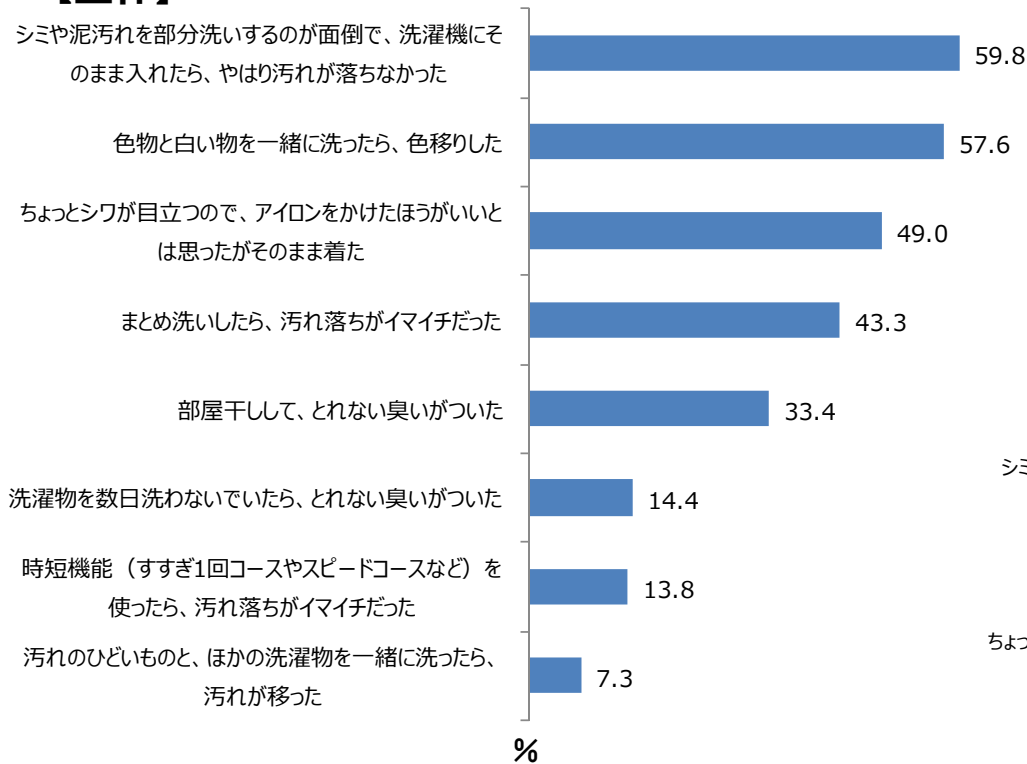
洗濯やアイロンがけの効率化のためにしていることを働き方別にみると、フルタイムワーク主婦のポイントが他より高めなのは、「なるべくアイロン不要な服を買う」。「洗濯機の乾燥機能を使う」「ニオイ対策のできる洗濯洗剤や柔軟剤を使う」のポイントも高いのは、夜間に洗濯することが多いことも一因であろう。

専業主婦のポイントが高めなのは「すすぎ1回でOKな洗濯洗剤を使う」「洗濯機の時短機能を利用する」。洗い分けをする率が高く、洗濯回数も多めなことから、より時短ニーズが強いと推察される。

洗濯に関することで、体験したことがあるもの

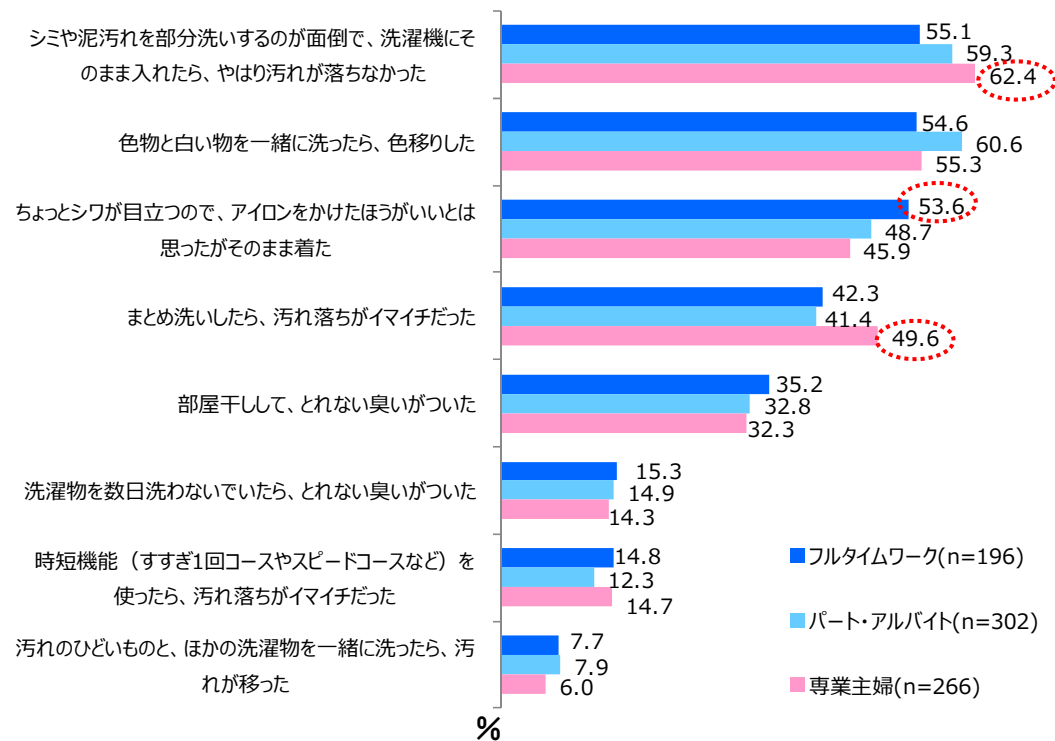
※複数回答

【全体】

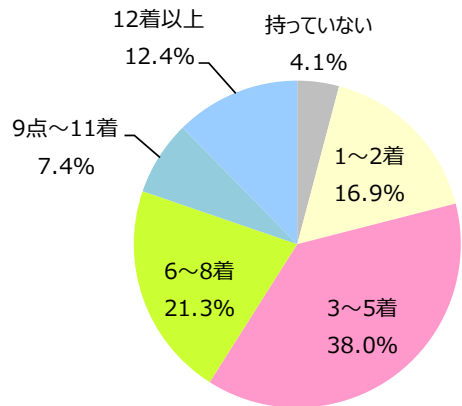


約6割が「シミや泥汚れの部分洗いをしなかった」「色物と白い物を一緒に洗った」ことによる失敗を体験。働き方で比較すると、フルタイムワーク主婦は「ちょっとシワが目立つがアイロンがけをしなかった」のポイントが53.6%と高め。専業主婦は「シミや泥汚れの部分洗いをしなかった」「まとめ洗いで汚れ落ちがイマイチ」の率が高く、手間削減によるクオリティー低下が気になる人が多い傾向。

【働き方別】



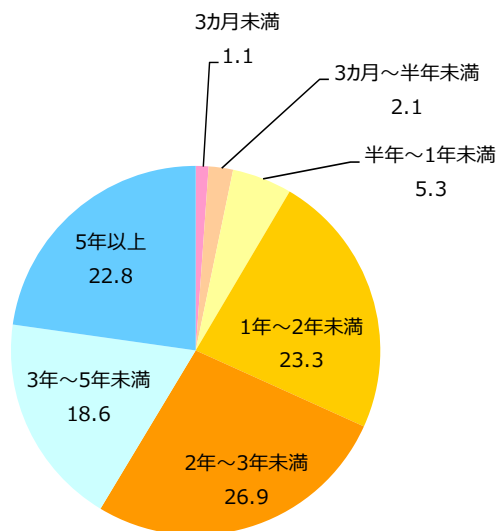
【全体】 白系トップスの所持数 ※ Tシャツやカットソー、ブラウスなど



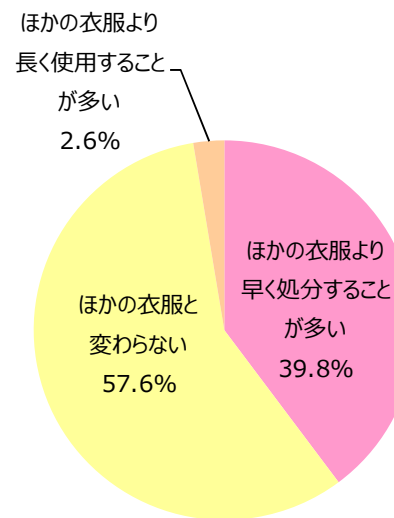
主婦の白系トップスの所持数は「3～5着」38.0%、「6～8着」21.3%がボリュームゾーン（平均5.6枚）。

白系の衣服は3年未満で処分する人が6割近く。ほかの衣服より早く処分することが多いという人が約4割。

【全体】 白系の衣服は大体どれくらいで処分するか

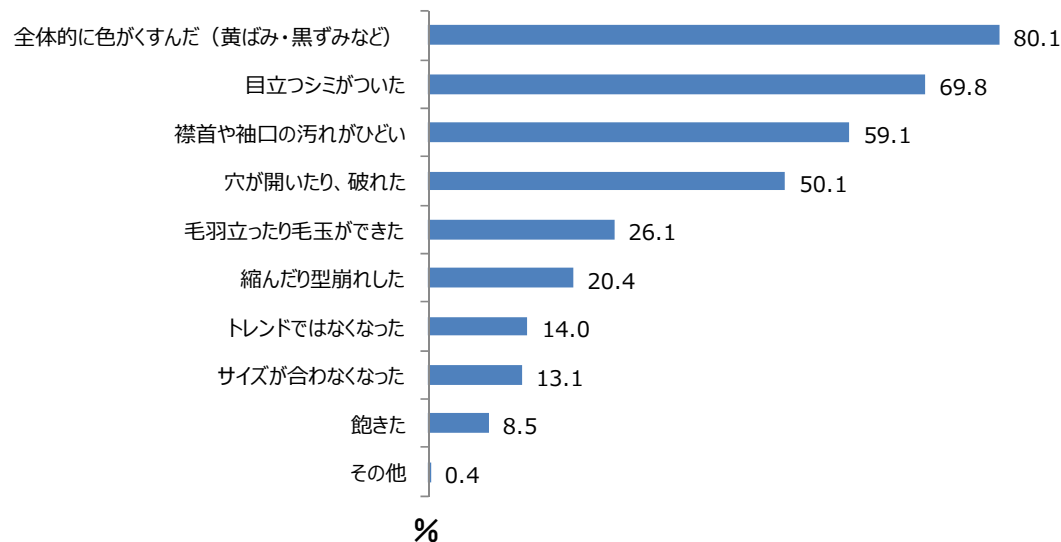


【全体】 白系の衣服を処分するタイミングは、ほかの衣服と違うか？



【全体】 白系の衣服を処分する理由

※複数回答（最大5つまで）



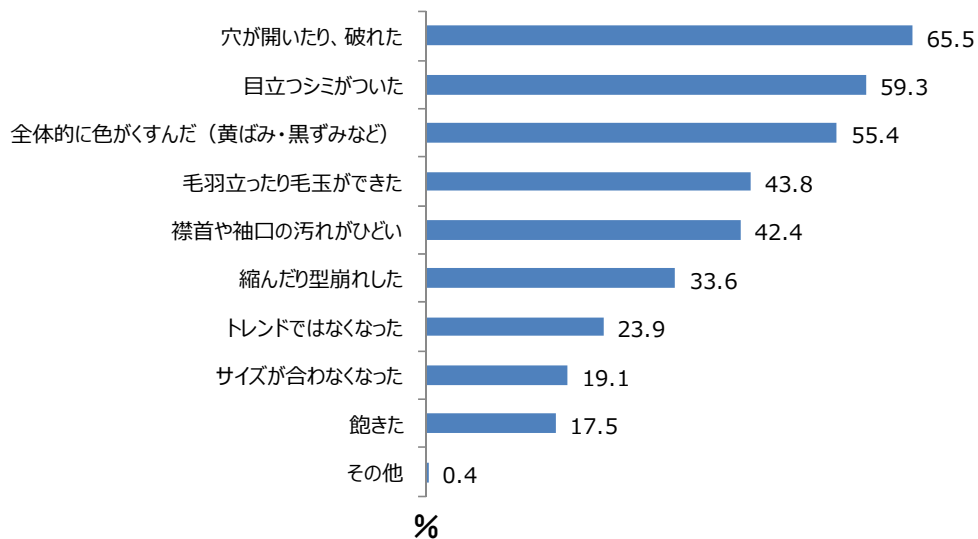
白系の衣服を処分する理由の1位は「全体的に色がくすんだ」で、約8割。
次いで「目立つシミ」「襟首や袖口の汚れ」と、白系の衣服だとより目立つものが上位に。

一方、白系以外の衣服を処分する理由の1位は「穴が開いたり、破れた」65.5%。
次いで、「目立つシミ」59.3%、「全体的に色がくすんだ」55.4%。

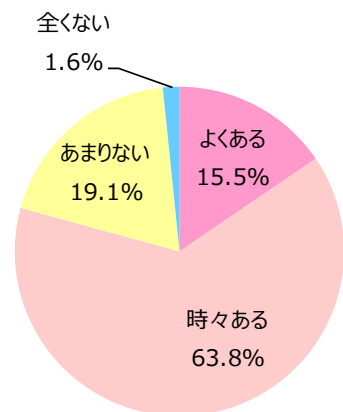
どちらの場合も「トレンドではなくなった」という理由を選んだ人は少なめだが、白系の衣服はより少なく14.0%。

【全体】 白系以外の衣服を処分する理由

※複数回答（最大5つまで）



【全体】 自宅で洗濯をしていて、衣服に落ちない汚れがついてがっかりすることはあるか？

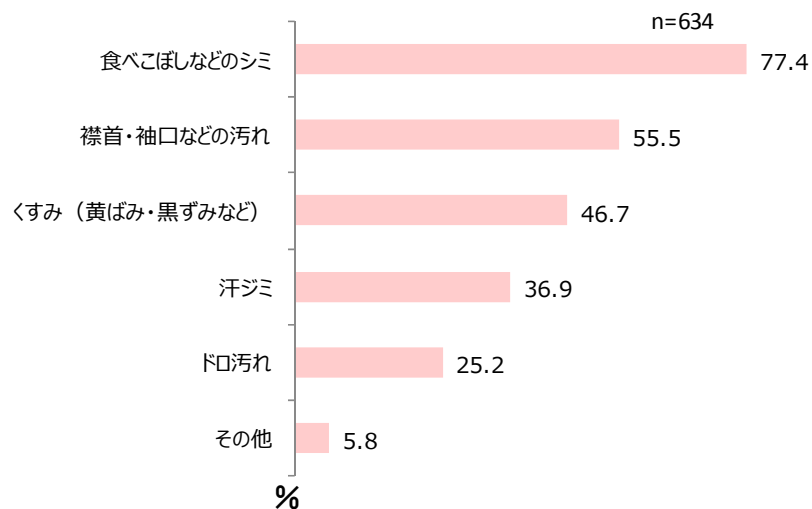


衣服に落ちない汚れがついて、がっかりすることが「よくある」「時々ある」合わせて約8割。

汚れの内容で最も多いのは、「食べこぼしなどのシミ」77.4%。
次いで、「襟首・袖口などの汚れ」「くすみ」と着ているうちに蓄積する汚れが上位に。

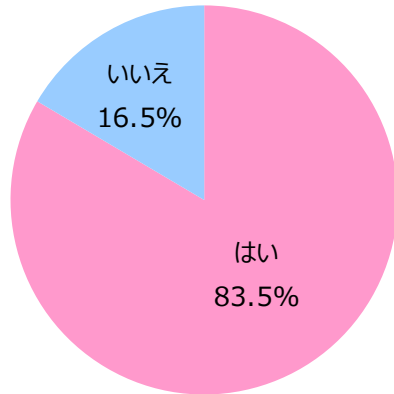
【全体】 それはどんな汚れか？ ※複数回答

※衣服に落ちない汚れがついてがっかりすることが「よくある」「時々ある」と答えた人が回答



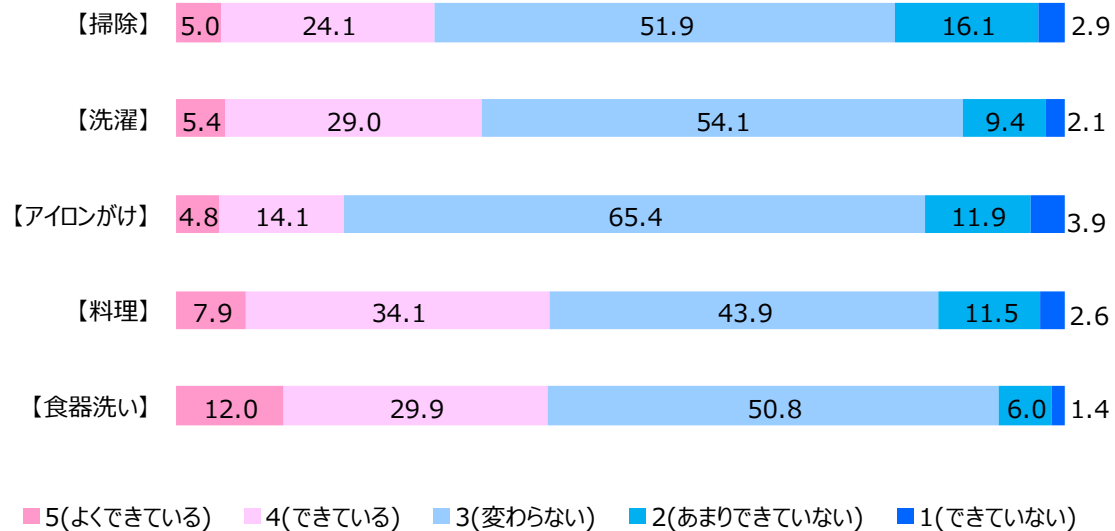
【全体】
洗濯物の放置時間が長いと、汚れが落ちにくくなることを知っているか？

洗濯物の放置時間が長いと、汚れが落ちにくくなることを「知っている」が8割超。



【全体】

5年前と比べて、次の家事はどれくらい効率化できたか？ %



5年前と比べて、家事の効率化ができていないかを5つのジャンルで聞いた。

「変わらない」「あまりできていない」「できていない」の合計で、効率化できていない順に並べると

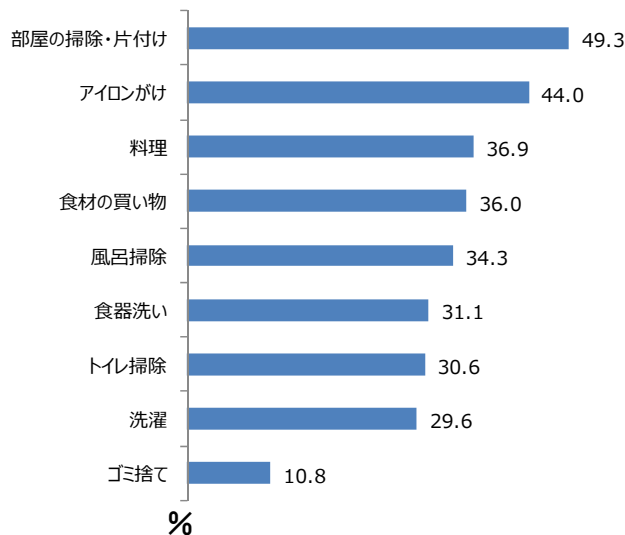
- ①アイロンがけ81.1%
- ②掃除70.9%
- ③洗濯65.6%
- ④食器洗い58.1%
- ⑤料理58.0%

最も効率化できている料理、食器洗いでも4割程度で、家事の効率化の難しさが窺える。

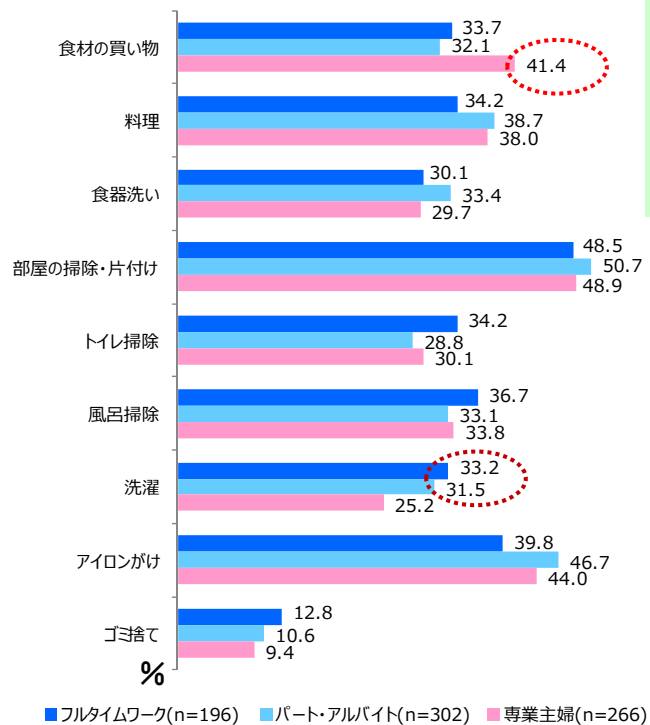
次の家事の中で、頻度を減らしたいと思っているものは？

※複数回答

【全体】



【働き方別】



家事の中で頻度を減らしたいものの上位は「部屋の掃除・片付け」49.3%、「アイロンがけ」44.0%、「料理」36.9%。

働き方別で比較すると、専業主婦は「食材の買い物」のポイントが高い。フルタイムワーク主婦と、パート・アルバイト主婦は「洗濯」のポイントが専業主婦より高い。